

第3章 高齢者の生きがいと地域生活に関する調査

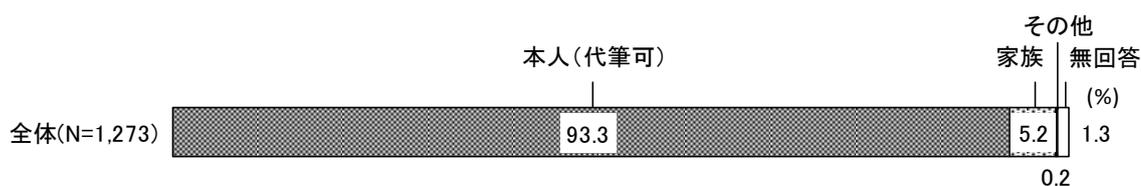
1 基本属性

(1) 回答者 (問1)

問1 この調査に回答していただく方はどなたですか。(1つに○)

○ 回答者は、「本人(代筆可)」が93.3%、「家族」が5.2%である。

図表 3-1 回答者 (全体)



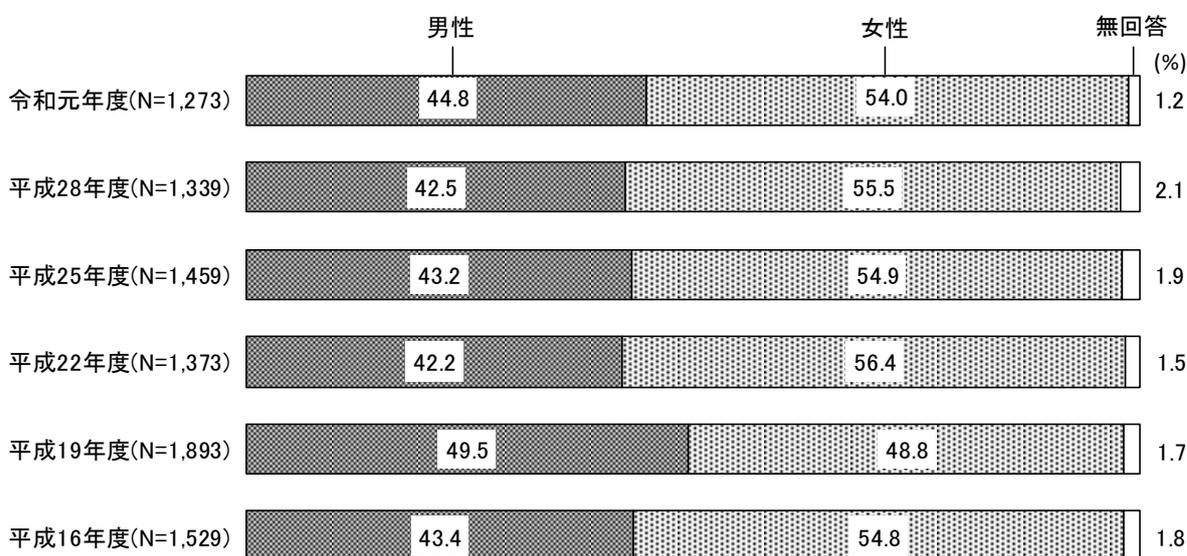
(2) 性別・年齢 (問2)

問2 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

また、令和元年10月1日現在の年齢をご記入ください。

○ 性別は、男性が44.8%、女性が54.0%である。

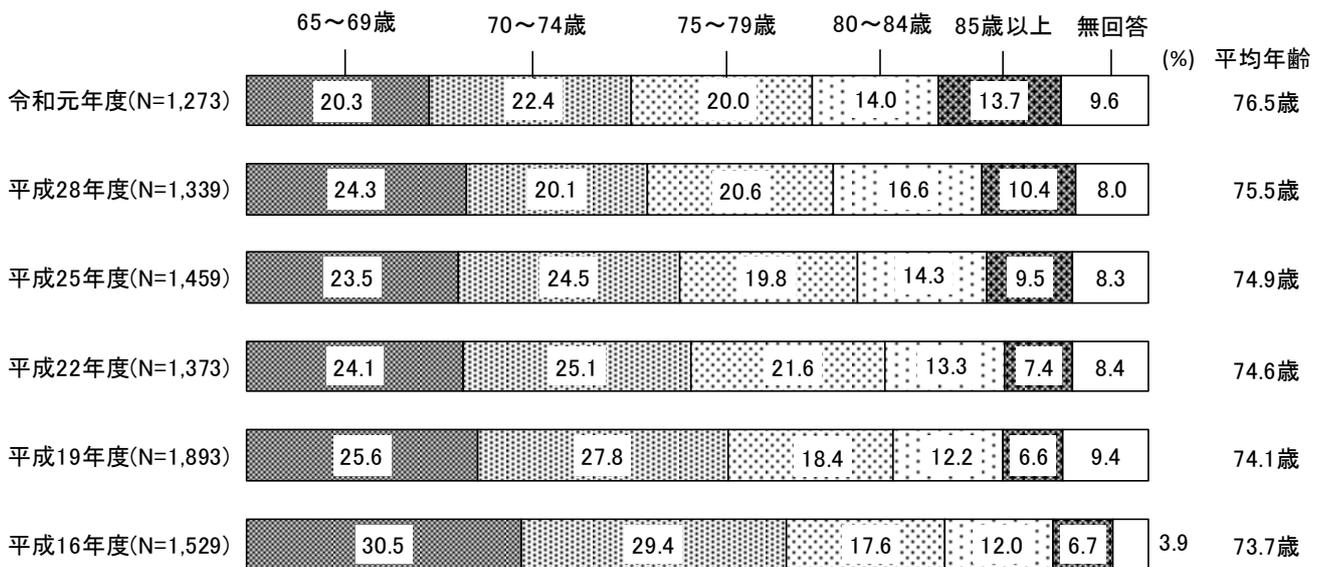
図表 3-2 性別 (全体)【経年比較】



II アンケート調査の結果

- 年齢は、「70～74歳 (22.4%)」が最も多くなっている。平均年齢は76.5歳である。
- **経年**で比較すると、令和元年度は平成19年度から平成25年度と同様に「70～74歳」が最も多くなっている。平成28年度は「65～69歳」が最も多くなっている。
- また、令和元年度は85歳以上が13.7%と、平成28年度の10.4%よりも高く、平成16年度からの調査で85歳以上の割合が最も高くなっている。
- 平均年齢は、令和元年度は76.5歳であり、年度が進むごとに平均年齢が高くなっている。

図表 3-3 年齢（全体）【経年比較】



(3) 生活しているところ（問3）

問3 あなたは、現在どこで生活していますか。（1つに○）

- 生活しているところは、「自宅（持ち家）で生活している (72.4%)」が最も多く、「自宅（賃貸）で生活している (21.4%)」、「施設に入所している（特別養護老人ホーム・有料老人ホーム等） (2.1%)」が続いている。

図表 3-4 生活しているところ（全体）



(4) 家族構成 (問4)

問4 現在、あなたの世帯の家族構成は、次のうちどれですか。(1つに○)

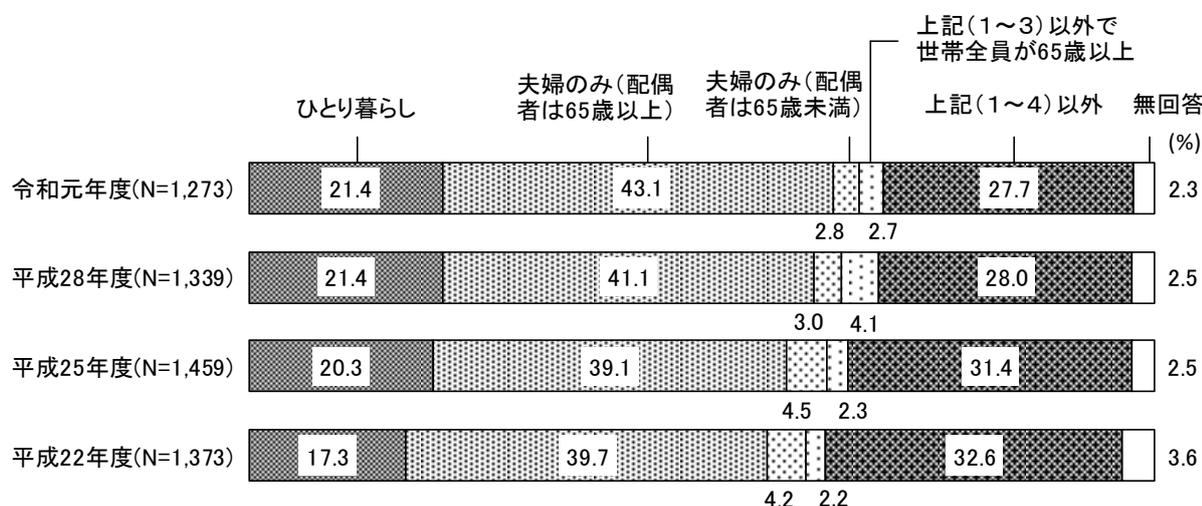
- 家族構成は、**全体**では、「夫婦のみ (配偶者は65歳以上)」が43.1%で最も多くなっている。
- **性別**にみると、「ひとり暮らし」は男性は15.4%、女性は26.7%である。
- **福祉圏域別**にみると、すべての地域で「夫婦のみ (配偶者は65歳以上)」が最も多くなっている。

図表 3-5 家族構成 (全体, 性別, 福祉圏域別)

		ひとり暮らし	は夫婦5の歳み(配偶者以上)	は夫婦6の歳み(配偶者未満)	65歳以上で世帯全員が	外上(1~3)以外	外上(1~4)以外	無回答
全 体 (N=1,273)		21.4	43.1	2.8	2.7	27.7	2.3	
性別	男性 (n= 570)	15.4	50.3	4.4	1.8	27.2	0.9	
	女性 (n= 688)	26.7	37.4	1.6	3.5	28.8	2.0	
福祉圏域別 (小学校区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 118)	27.1	47.6	1.7	0.8	22.0	0.8	
	若葉・調和 (n= 164)	20.7	45.2	3.7	1.2	27.4	1.8	
	上ノ原・柏野 (n= 147)	18.4	44.9	4.8	2.0	29.9	0.0	
	北ノ台・深大寺 (n= 127)	22.8	42.6	3.1	1.6	29.1	0.8	
	第二・八雲台・国領 (n= 213)	22.5	44.2	3.8	2.8	24.4	2.3	
	染地・杉森・布田 (n= 142)	20.4	42.3	0.7	3.5	31.7	1.4	
第一・富士見台・多摩川 (n= 159)	21.4	40.2	2.5	5.7	28.9	1.3		
第三・石原・飛田給 (n= 180)	17.8	43.3	2.2	2.8	32.2	1.7		

- **経年**で比較すると、令和元年度は「夫婦のみ (配偶者は65歳以上) (43.1%)」が平成16年度からの調査で最も割合が高くなっている。また、令和元年度の「ひとり暮らし」は21.4%で、平成28年度調査と同じ割合であるが、平成22年度調査から年度が進むごとに割合が高くなっている。

図表 3-6 家族構成 (全体) 【経年比較】



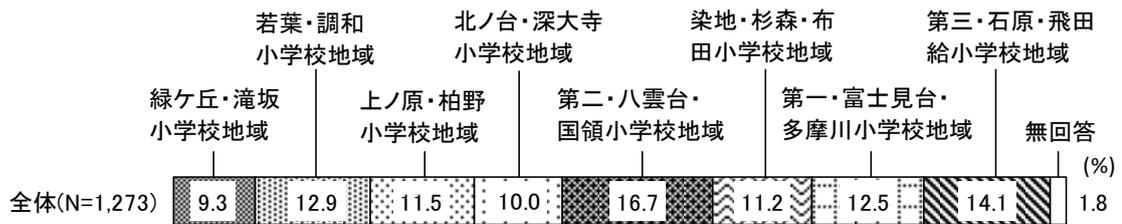
※平成28年度まで、「夫婦のみ (配偶者は65歳未満)」は「夫婦のみ以外で世帯全員が65歳以上」、「上記(1~4)以外」は「その他」。

(5) 居住地域 (問5 (1))

問5 (1) お住まいの地域はどこですか。記入例を参考に【町名】、【丁目】をご記入ください。

- 居住地域は、「第二・八雲台・国領小学校地域 (16.7%)」が最も多く、「第三・石原・飛田給小学校地域 (14.1%)」が続いている。

図表 3-7 居住地域 (全体)



※それぞれの地域の対応する町名・丁目及び小学校区は、6ページを参照

(6) お住まいの近くにある公立小学校 (問5 (2))

問5 (2) お住まいの近くにある公立小学校はどれですか。(1つに○)

- 住まいの近くにある公立小学校は、「上ノ原小学校 (7.9%)」が最も多く、「若葉小学校 (7.5%)」, 「北ノ台小学校 (6.8%)」が続いている。「分からない」は3.3%である。

図表 3-8 お住まいの近くにある公立小学校 (全体)

	第一小学校	第二小学校	第三小学校	八雲台小学校	富士見台小学校	滝坂小学校	深大寺小学校	上ノ原小学校	石原小学校	若葉小学校	緑ヶ丘小学校
全体 (N=1,273)	4.6	3.8	5.9	5.4	4.6	4.2	3.1	7.9	4.5	7.5	4.1
	染地小学校	北ノ台小学校	多摩川小学校	杉森小学校	飛田給小学校	柏野小学校	国領小学校	布田小学校	調和小学校	分からない	無回答
全体 (N=1,273)	3.8	6.8	2.7	3.9	3.1	3.4	6.6	3.0	4.6	3.3	3.2

(7) 介護の有無 (問6)

問6 あなたは現在、介護を受けていますか。(いくつでも○)

- 介護の有無は、**全体**では、《介護を受けている》*の割合は、13.0%で1割を超えている。
- **年代別**にみると、85歳以上は《介護を受けている》の割合は、約半数となっている。
- **性・年代別**にみると、《介護を受けている》の割合は、男女ともに年代が上がるにつれて高くなっており、85歳以上の方のうち、男性は約4割、女性は5割を超えている。
- **家族構成別**にみると、《介護を受けている》の割合は、ひとり暮らしで約2割となっており、全体と比べ5ポイント以上高くなっている。
- **福祉圏域別**にみると、《介護を受けている》の割合は、北ノ台・深大寺小学校地域で18.1%と最も高く、染地・杉森・布田小学校地域で6.3%と低くなっている。

図表3-9 介護の状況 (全体, 年代別, 性・年代別, 家族構成別, 福祉圏域別)

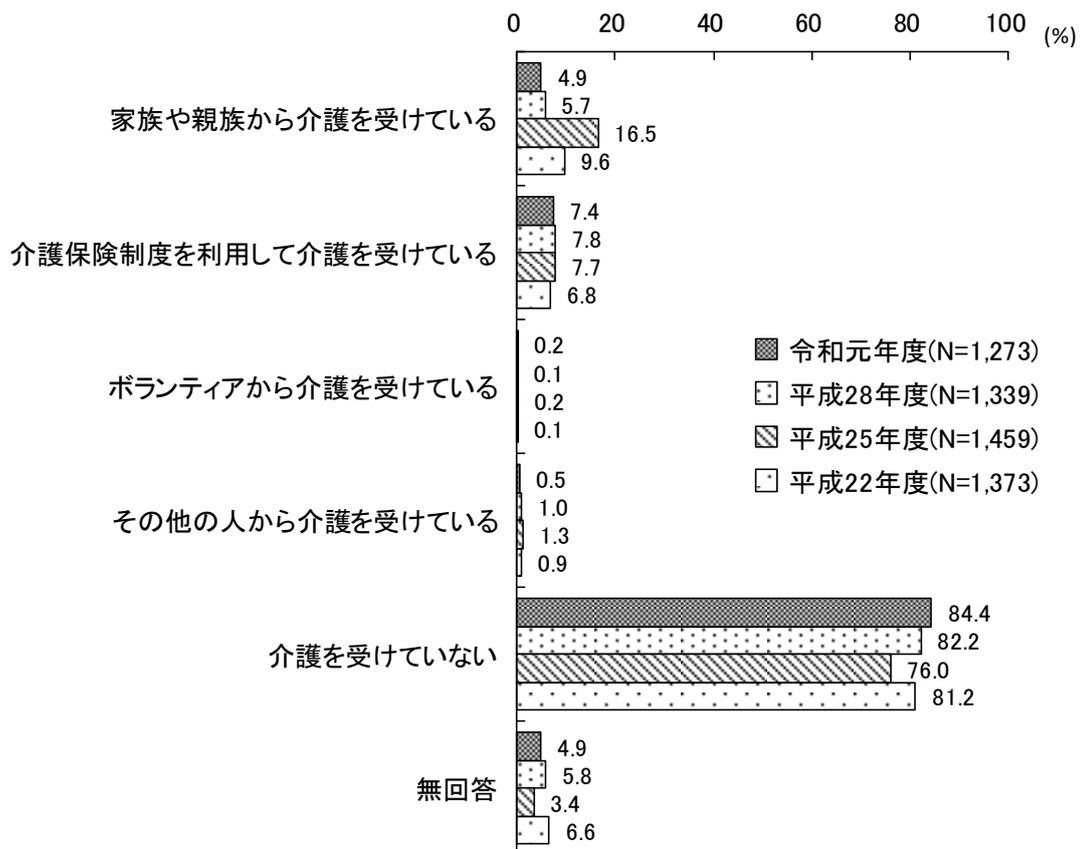
		(%)						(%)				
		家族や親族から介護を受けている	介護保険制度を利用して介護を受けている	ボランティアから介護を受けている	その他の人から介護を受けている	介護を受けていない	無回答	《介護を受けている》	《介護を受けていない》	無回答		
全	体	(N=1,273)	4.9	7.4	0.2	0.5	84.4	4.9	13.0	84.4	4.9	
年代別	65~74歳	(n= 544)	0.9	1.1	0.0	0.2	94.5	3.5	2.2	94.5	3.5	
	75~84歳	(n= 432)	4.9	7.4	0.0	0.7	84.7	4.2	13.0	84.7	4.2	
	85歳以上	(n= 175)	17.7	29.1	0.6	1.7	54.9	6.9	49.1	54.9	6.9	
性・年代別	男性	65~74歳	(n= 258)	0.8	1.9	0.0	0.4	93.4	3.9	3.1	93.4	3.9
		75~84歳	(n= 186)	6.5	7.0	0.0	0.0	84.4	4.8	13.4	84.4	4.8
		85歳以上	(n= 54)	13.0	22.2	0.0	3.7	63.0	7.4	38.9	63.0	7.4
	女性	65~74歳	(n= 285)	1.1	0.4	0.0	0.0	95.4	3.2	1.4	95.4	3.2
		75~84歳	(n= 244)	3.7	7.8	0.0	1.2	84.8	3.7	12.7	84.8	3.7
		85歳以上	(n= 121)	19.8	32.2	0.8	0.8	51.2	6.6	53.7	51.2	6.6
家族構成別	ひとり暮らし	(n= 272)	5.9	14.3	0.4	1.1	75.7	5.9	21.7	75.7	5.9	
	夫婦のみ	(n= 585)	4.4	5.5	0.0	0.7	86.3	5.1	10.6	86.3	5.1	
	その他	(n= 387)	4.7	4.9	0.3	0.0	89.4	2.8	9.8	89.4	2.8	
福祉圏域別 (小学校区)	緑ヶ丘・滝坂	(n= 118)	3.4	8.5	0.0	0.0	82.2	7.6	11.9	82.2	7.6	
	若葉・調和	(n= 164)	4.3	3.7	0.0	0.0	87.8	4.9	7.9	87.8	4.9	
	上ノ原・柏野	(n= 147)	6.1	7.5	0.0	0.7	84.4	4.1	14.3	84.4	4.1	
	北ノ台・深大寺	(n= 127)	7.9	9.4	0.0	0.8	81.1	3.9	18.1	81.1	3.9	
	第二・八雲台・国領	(n= 213)	5.6	8.5	0.0	0.0	82.2	6.6	14.1	82.2	6.6	
	染地・杉森・布田	(n= 142)	2.1	3.5	0.0	0.7	89.4	4.9	6.3	89.4	4.9	
	第一・富士見台・多摩川	(n= 159)	3.1	8.2	0.6	1.9	86.2	4.4	13.8	86.2	4.4	
第三・石原・飛田給	(n= 180)	6.1	10.0	0.6	0.0	83.9	2.2	16.7	83.9	2.2		

※《介護を受けている》:「家族や親族から介護を受けている」,「介護保険制度を利用して介護を受けている」,「ボランティアから介護を受けている」,「その他の人から介護を受けている」の合計。

Ⅱ アンケート調査の結果

- **経年**で比較すると、令和元年度は、「介護を受けていない」は84.4%で、平成25年度から年度が進むごとに割合が高くなっている。
- また、介護を受けている人では、令和元年度は平成28年度と同様に、「介護保険制度を利用して介護を受けている（7.4%）」が最も多く、「家族や親族から介護を受けている（4.9%）」が続いている。一方、平成22年度から平成25年度は「家族や親族から介護を受けている」が最も多く、「介護保険制度を利用して介護を受けている」が続いている。

図表 3-10 介護の有無（全体：複数回答）【経年比較】



※《介護を受けている》：「家族や親族から介護を受けている」、「介護保険制度を利用して介護を受けている」、「ボランティアから介護を受けている」、「その他の人から介護を受けている」のいずれかに回答した人

(8) 主な介護者（問6-1）

問6-1 問6で「1. 家族や親族から介護を受けている」と答えた方におたずねします。
 主な介護者はどなたですか。（1つに○）

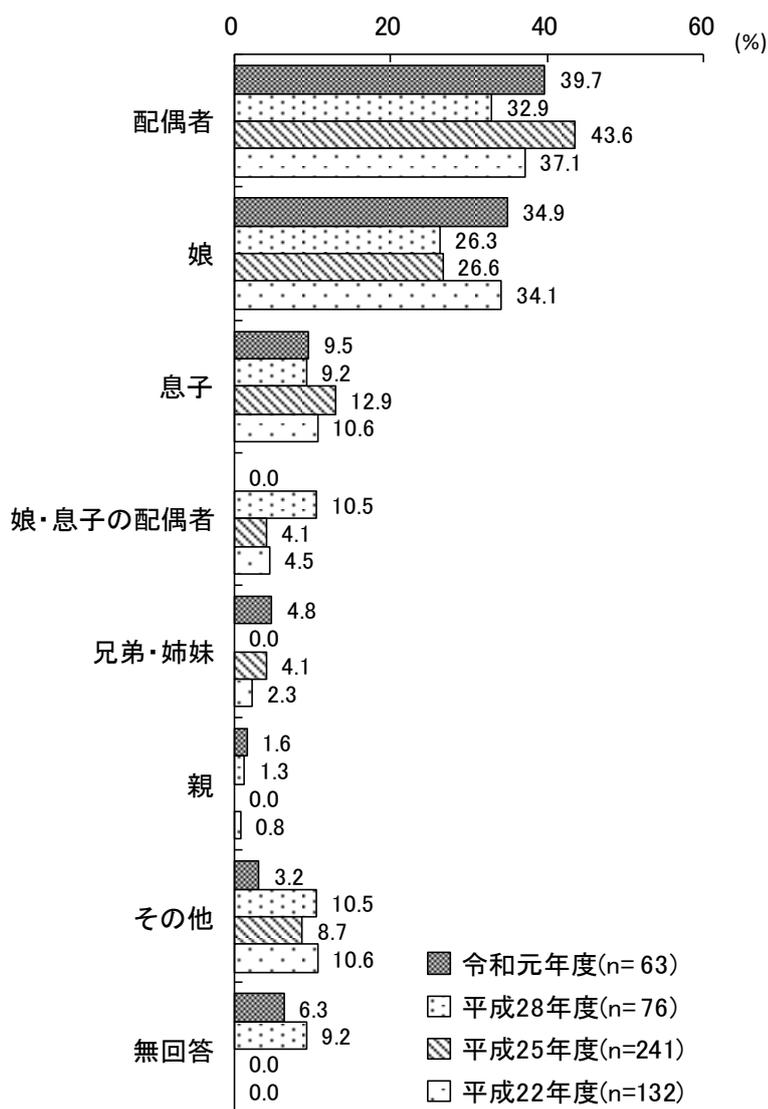
- 「家族や親族から介護を受けている」と回答した人に、その主な介護者をたずねたところ、**全体**では「配偶者（39.7%）」が最も多く、「娘（34.9%）」が続いている。
- **性別**にみると、男性は「配偶者」が80.0%で8割を占めている。一方、女性は、「娘」が59.5%で約6割を占めている。

図表 3-11 主な介護者（全体，性別）
 <「家族や親族から介護を受けている」と回答した方>

		(%)							
		配偶者	娘	息子	の娘 配・ 偶息 者子	妹兄 弟・ 姉	親	その他	無 回 答
全	体 (N= 63)	39.7	34.9	9.5	0.0	4.8	1.6	3.2	6.3
性 別	男性 (n= 25)	80.0	0.0	4.0	0.0	4.0	4.0	0.0	8.0
	女性 (n= 37)	10.8	59.5	13.5	0.0	5.4	0.0	5.4	5.4

○ **経年**で比較すると，令和元年度は平成28年度までと同様に，「配偶者」が最も多く，「娘」が続いており，どちらの割合も平成28年度に比べ，5ポイント以上高くなっている。

図表 3-12 主な介護者（全体：複数回答）【経年比較】
 <「家族や親族から介護を受けている」と回答した方>



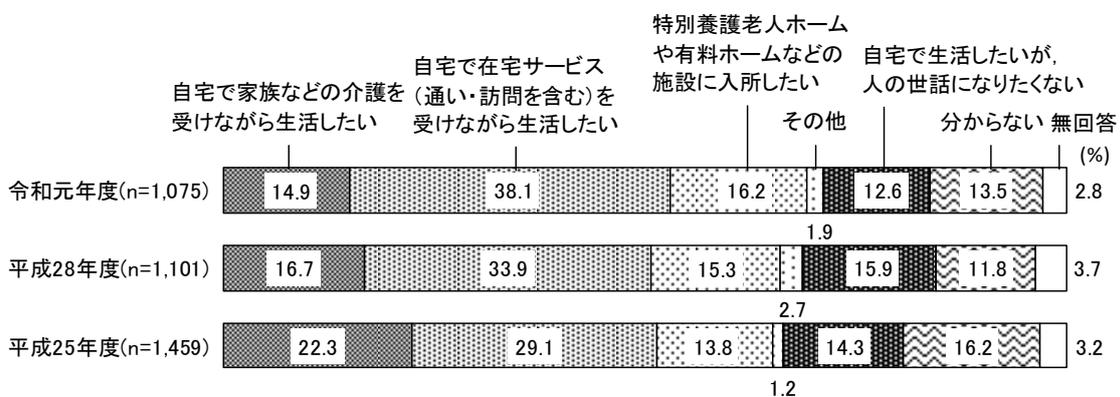
(9) 介護が必要になったときに生活したい場所 (問6-2)

問6-2 問6で「5. 介護を受けていない」と答えた方におたずねします。
 あなたは、介護が必要になったとき、どこで生活したいと考えていますか。(1つに○)

- 「介護を受けていない」と回答した人に、介護が必要になったときにどこで生活したいかたずねたところ、**全体**では、「自宅で在宅サービス(通い・訪問を含む)を受けながら生活したい(38.1%)」が最も多く、「特別養護老人ホームや有料ホームなどの施設に入所したい(16.2%)」が続いており、介護が必要になっても《自宅で生活したい》※の割合は65.6%である。
- **経年**で比較すると、令和元年度は平成28年度・平成25年度と同様に、「自宅で在宅サービス(通い・訪問を含む)を受けながら生活したい」が最も多くなっている。しかし、平成28年度・平成25年度は第2位に「自宅で家族などの介護を受けながら生活したい」が続いていたが、令和元年度は「特別養護老人ホームなどや有料ホームなどの施設に入所したい」が続いている。
- また、令和元年度は平成28年度と比べて「自宅で在宅サービス(通い・訪問を含む)を受けながら生活したい」が4.2ポイント高くなっている。

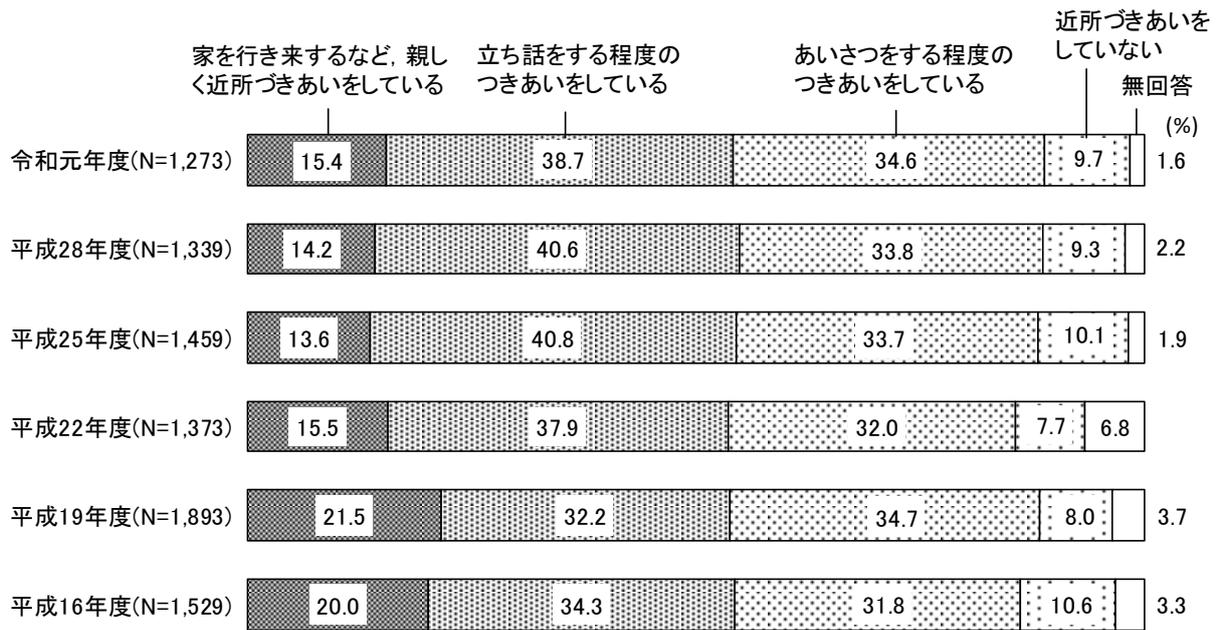
図表 3-13 介護が必要になったときに生活したい場所 (全体)【経年比較】

＜「介護を受けていない」と回答した人＞



※《自宅で生活したい》:「自宅で家族などの介護を受けながら生活したい」、「自宅で在宅サービス(通い・訪問を含む)を受けながら生活したい」、「自宅で生活したいが、人の世話になりたくない」の合計。

図表 3-15 近所づきあいの状況（全体）【経年比較】



(2) 近所づきあいをしていない理由（問7-1）

問7-1 問7で「4. 近所づきあいをしていない」と答えた方におたずねします。
近所づきあいをしていない主な理由は何ですか。（いくつでも○）

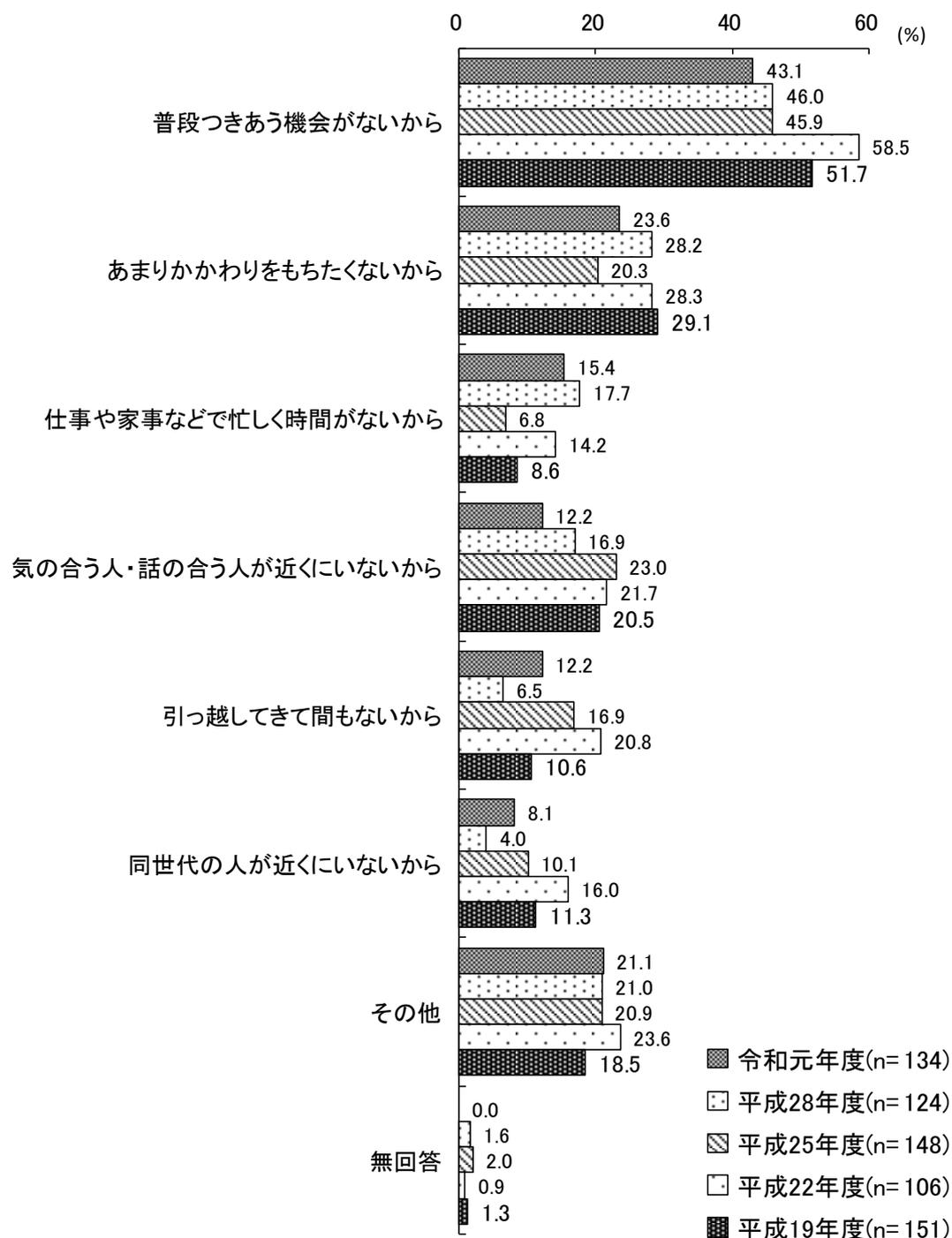
- 「近所づきあいをしていない」と回答した人にその理由をたずねたところ、**全体**では、「普段つきあう機会がないから（43.1%）」が最も多く、「あまりかかわりをもたたくないから（23.6%）」、「仕事や家事などで忙しく時間がないから（15.4%）」が続いている。
- **性別**にみると、女性は「引っ越してきて間もないから」と「同世代の人が近くにいないから」が全体と比べ5ポイント以上高くなっている。

図表 3-16 近所づきあいをしていない理由（全体、性別：複数回答）
＜「近所づきあいをしていない」と回答した方＞

		(%)							
		し仕 く事 時や 間家 が事 なな いど かで ら忙	な引 いつ か越 らし てき て間 も	な普 い段 かつ らき あう 機会 が	い同 ない世 い代 かの ら人 が近 くに	かう 人の が合 近う く人 に・ い話 なの い合	ちあ たま くり なか いかわ りをも	そ の 他	無 回 答
全	体 (n=123)	15.4	12.2	43.1	8.1	12.2	23.6	21.1	0.0
性別	男性 (n= 69)	17.4	5.8	44.9	2.9	14.5	27.5	15.9	0.0
	女性 (n= 52)	13.5	21.2	42.3	15.4	9.6	15.4	28.8	0.0

- **経年**で比較すると、令和元年度は平成19年度から平成28年度と同様に、「普段つきあう機会がないから」が最も多くなっている。

図表 3-17 近所づきあいをしていない理由（全体：複数回答）【経年比較】
 <「近所づきあいをしていない」と回答した方>



3 日ごろの悩みと相談

(1) 地域の暮らしの中での不安や課題（問8）

問 8 あなたは、地域での暮らしの中で、不安や課題と覚えることがありますか。身近に覚える不安や課題をお答えてください。（いくつでも○）

- 地域の暮らしの中での不安や課題は、**全体**では、「健康のこと（61.7%）」が最も多く、「老後の生活のこと（39.4%）」、「災害時のこと（32.9%）」が続いている。
- **性・年代別**にみると、すべての年代で「健康のこと」が最も多くなっている。また、男性・65歳～74歳で「仕事のこと」、男性・85歳以上で「健康のこと」、「介護のこと」、「災害時のこと」、「気軽に相談できる人（機関）が少ないこと」、女性・65～74歳で「老後の生活のこと」と「災害時のこと」、女性・85歳以上で「介護のこと」が全体と比べ5ポイント以上高くなっている。
- **家族構成別**にみると、ひとり暮らしは「孤立死のこと（21.7%）」が全体と比べ10ポイント以上高く、2割を超えている。
- **福祉圏域別**にみると、第三・石原・飛田給小学校地域で「介護のこと」、若葉・調和小学校地域で「住まいや住宅のこと」、「葬儀、墓のこと」、染地・杉森・布田小学校地域と第一・富士見台・多摩川小学校地域で「災害時のこと」が全体と比べ5ポイント以上高くなっている。

図表3-18 暮らしの中で感じる不安や課題
(全体、性別、性・年代別、家族構成別、福祉圏域別：複数回答)

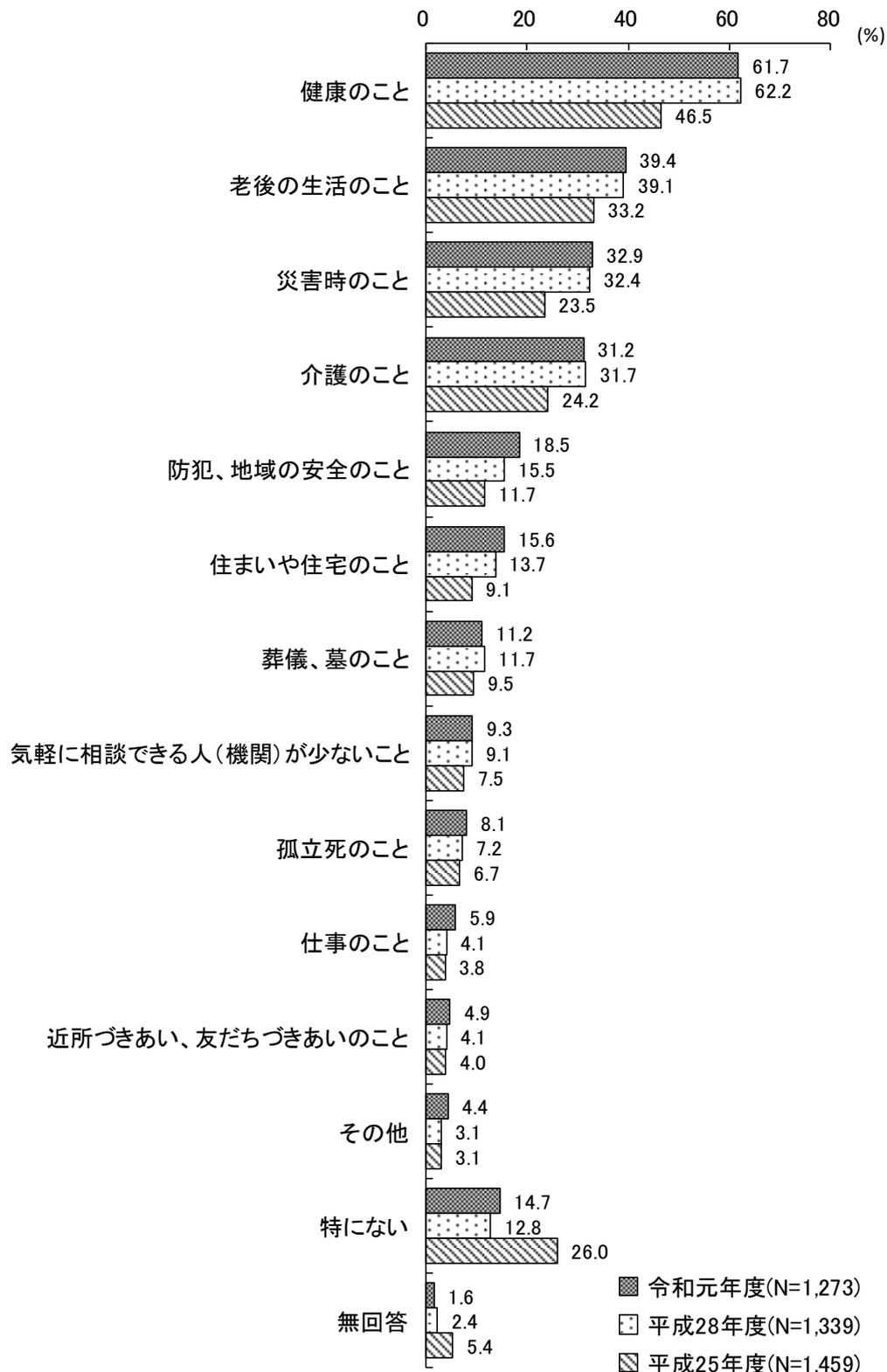
		健康のこと	介護のこと	と老後の生活のこと	住まいや住宅のこと	仕事のこと	の友だちづきあい、近所づきあい、のこと	全防犯、地域の安	
全	体 (N=1, 273)	61.7	31.2	39.4	15.6	5.9	4.9	18.5	
性別	男性 (n= 570)	63.3	29.3	38.9	17.5	8.8	4.6	17.2	
	女性 (n= 688)	60.6	33.0	39.5	13.7	3.3	5.1	19.6	
性・年代別	男性	65～74歳 (n= 258)	59.7	21.7	39.5	19.4	15.1	4.3	16.3
		75～84歳 (n= 186)	63.4	34.4	38.2	15.1	2.7	4.3	17.7
		85歳以上 (n= 54)	75.9	50.0	40.7	7.4	0.0	5.6	22.2
	女性	65～74歳 (n= 285)	57.2	30.2	50.2	14.0	5.3	6.7	21.4
		75～84歳 (n= 244)	63.1	34.8	35.7	14.8	2.5	4.1	17.6
		85歳以上 (n= 121)	65.3	38.8	26.4	12.4	0.0	3.3	19.0
家族構成別	ひとり暮らし (n= 272)	65.1	32.7	38.6	16.5	3.7	4.8	14.3	
	夫婦のみ (n= 585)	60.5	31.6	40.0	14.7	5.6	4.8	21.2	
	その他 (n= 387)	62.5	30.0	40.3	15.8	8.0	5.4	17.3	
福祉圏域別 (小学校区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 118)	58.5	28.0	28.8	12.7	4.2	3.4	19.5	
	若葉・調和 (n= 164)	59.1	29.9	42.7	22.6	4.3	6.7	18.3	
	上ノ原・柏野 (n= 147)	65.3	28.6	42.9	16.3	4.1	6.1	17.7	
	北ノ台・深大寺 (n= 127)	60.6	30.7	35.4	15.7	7.1	3.9	17.3	
	第二・八雲台・国領 (n= 213)	61.5	29.6	42.7	12.7	8.9	5.2	17.4	
	染地・杉森・布田 (n= 142)	59.9	35.9	43.7	15.5	5.6	5.6	19.7	
	第一・富士見台・多摩川 (n= 159)	65.4	30.2	37.1	10.7	4.4	3.8	22.6	
	第三・石原・飛田給 (n= 180)	63.3	37.8	40.0	15.0	6.7	4.4	16.7	

		孤立死のこと	災害時のこと	少ないこと(相談でき)	葬儀、墓のこと	その他	特にな	無回答	
全	体 (N=1, 273)	8.1	32.9	9.3	11.2	4.4	14.7	1.6	
性別	男性 (n= 570)	6.5	28.6	8.8	11.6	3.0	15.1	1.1	
	女性 (n= 688)	9.3	36.5	9.2	10.6	5.7	14.4	2.0	
性・年代別	男性	65～74歳 (n= 258)	8.1	24.8	5.0	12.4	3.9	14.0	0.8
		75～84歳 (n= 186)	4.8	31.2	10.8	12.9	2.2	17.2	0.5
		85歳以上 (n= 54)	5.6	40.7	16.7	3.7	5.6	14.8	3.7
	女性	65～74歳 (n= 285)	9.5	43.2	10.5	11.9	4.9	12.6	0.7
		75～84歳 (n= 244)	9.0	33.2	7.8	11.1	6.6	16.0	1.6
		85歳以上 (n= 121)	9.1	28.9	8.3	8.3	6.6	13.2	5.8
家族構成別	ひとり暮らし (n= 272)	21.7	27.9	9.2	7.0	5.9	12.1	2.6	
	夫婦のみ (n= 585)	5.3	34.4	9.4	11.3	3.9	15.4	1.2	
	その他 (n= 387)	2.8	34.4	8.8	13.7	4.4	15.5	0.8	
福祉圏域別 (小学校区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 118)	7.6	30.5	8.5	11.9	4.2	19.5	0.8	
	若葉・調和 (n= 164)	10.4	32.3	9.1	16.5	4.9	14.0	1.8	
	上ノ原・柏野 (n= 147)	8.8	32.7	6.8	12.2	5.4	15.6	2.0	
	北ノ台・深大寺 (n= 127)	6.3	26.8	8.7	7.1	2.4	14.2	1.6	
	第二・八雲台・国領 (n= 213)	8.9	30.5	10.3	9.4	3.3	16.4	2.3	
	染地・杉森・布田 (n= 142)	6.3	40.1	9.2	11.3	3.5	13.4	0.7	
	第一・富士見台・多摩川 (n= 159)	6.3	39.0	8.2	8.8	6.9	11.9	0.6	
	第三・石原・飛田給 (n= 180)	7.8	32.8	10.0	11.7	4.4	13.3	2.2	

Ⅱ アンケート調査の結果

- **経年**で比較すると、令和元年度は、「健康のこと」と「介護のこと」、「葬儀、墓のこと」以外の項目で、年度が進むごとに割合が高くなっている。特に、「老後の生活のこと」、「災害時のこと」、「防犯、地域の安全のこと」、「住まいや住宅のこと」は、平成25年度と比べ、5ポイント以上高くなっている。

図表 3-19 地域の暮らしの中での不安や課題（全体：複数回答）【経年比較】



(2) 困ったときの身近な相談相手（人・機関）（問9）

問9 日常生活の中で困ったとき、主に相談できる人・機関は次のうちどれですか。

(いくつでも○)

- 身近な相談できる人・機関は、**全体**では「同居の家族（61.2%）」が最も多く、「別居の家族や親戚（53.7%）」、「友人・知人（29.8%）」と続いている。
- **年代別**にみると、85歳以上は「ケアマネジャー・ヘルパーなどの事業者（29.7%）」が約3割であり、全体と比べ20ポイント以上高くなっている。
- **性・年代別**にみると、男性・65～74歳で「友人・知人」、男性・75歳～84歳で「同居の家族」、女性・65～74歳は「別居の家族や親戚」が全体と比べ5ポイント以上高くなっている。また、男性・85歳以上と女性・85歳以上で「別居の家族や親戚」、「かかりつけ医や保健師などの医療関係者」が全体と比べ5ポイント以上高くなっており、特に、「ケアマネジャー・ヘルパーなどの事業者」が全体と比べ10～20ポイント以上高くなっている。
- **福祉圏域別**にみると、緑ヶ丘・滝坂小学校地域で「友人・知人」、染地・杉森・布田小学校地域で「別居の家族や親戚」と「自治会や近所の人」、第一・富士見台・多摩川小学校地域で「市役所」が全体と比べ5ポイント以上高くなっている。

II アンケート調査の結果

図表 3-20 困ったときの身近な相談相手（人・機関）

（全体，年代別，性・年代別，福祉圏域別：複数回答）

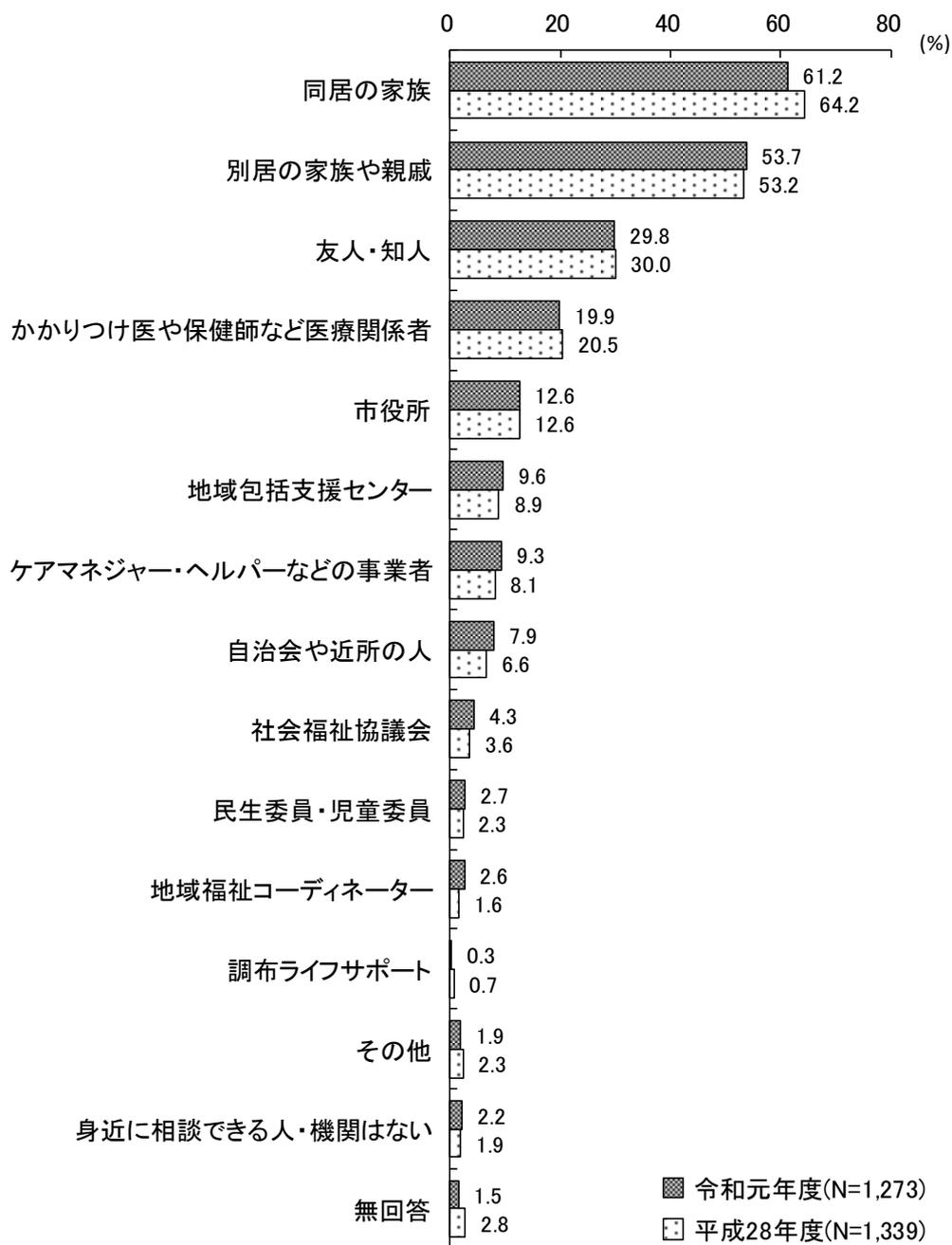
(%)

		同居の家族	別居の家族や親戚	自治会や近所の人	友人・知人	民生委員・児童委員	地域福祉コーディネーター	ヘルパーなどの事業者	ケアマネジャー	かかりつけ医や保健師など医療関係者
全	体 (N=1, 273)	61.2	53.7	7.9	29.8	2.7	2.6	9.3	19.9	
年代別	65～74歳 (n= 544)	64.9	53.9	7.0	41.0	0.7	2.2	3.3	15.6	
	75～84歳 (n= 432)	63.4	52.5	9.3	24.8	4.4	3.0	9.7	23.1	
	85歳以上 (n= 175)	42.9	62.9	9.1	13.7	4.6	2.9	29.7	26.9	
性・年代別	男性	65～74歳 (n= 258)	64.3	43.4	6.2	36.8	0.8	1.6	2.3	17.4
		75～84歳 (n= 186)	73.7	48.4	10.2	19.9	5.4	2.7	8.1	23.7
		85歳以上 (n= 54)	53.7	63.0	9.3	5.6	3.7	5.6	25.9	29.6
	女性	65～74歳 (n= 285)	65.3	63.2	7.7	44.9	0.7	2.8	4.2	14.0
		75～84歳 (n= 244)	55.3	55.7	8.6	28.7	3.7	3.3	11.1	23.0
		85歳以上 (n= 121)	38.0	62.8	9.1	17.4	5.0	1.7	31.4	25.6
福祉圏域別（小学校区）	緑ヶ丘・滝坂 (n= 118)	56.8	53.4	4.2	36.4	1.7	2.5	10.2	16.1	
	若葉・調和 (n= 164)	61.6	48.8	7.9	31.1	2.4	0.6	6.1	23.8	
	上ノ原・柏野 (n= 147)	65.3	55.1	5.4	23.8	1.4	1.4	9.5	24.5	
	北ノ台・深大寺 (n= 127)	61.4	53.5	4.7	23.6	1.6	1.6	11.8	19.7	
	第二・八雲台・国領 (n= 213)	61.0	55.4	6.6	28.6	4.2	4.2	12.2	18.3	
	染地・杉森・布田 (n= 142)	62.7	62.0	16.2	29.6	4.2	2.1	6.3	15.5	
	第一・富士見台・多摩川 (n= 159)	62.9	49.1	10.7	34.0	3.1	4.4	8.8	16.4	
第三・石原・飛田給 (n= 180)	61.1	53.9	8.3	32.2	1.7	3.3	9.4	24.4		

		市役所	社会福祉協議会	地域包括支援センター	調布ライフサポート	その他	身近に相談できない機関	無回答	
全	体 (N=1, 273)	12.6	4.3	9.6	0.3	1.9	2.2	1.5	
年代別	65～74歳 (n= 544)	14.2	3.5	6.4	0.4	1.8	2.6	0.6	
	75～84歳 (n= 432)	13.7	6.3	12.0	0.5	1.6	1.6	1.4	
	85歳以上 (n= 175)	9.1	4.6	17.1	0.0	1.7	0.6	3.4	
性・年代別	男性	65～74歳 (n= 258)	14.7	2.7	3.9	0.0	3.1	3.5	0.4
		75～84歳 (n= 186)	15.1	6.5	9.1	0.0	1.6	1.6	0.5
		85歳以上 (n= 54)	13.0	5.6	20.4	0.0	1.9	0.0	0.0
	女性	65～74歳 (n= 285)	13.3	3.9	8.8	0.7	0.7	1.8	0.7
		75～84歳 (n= 244)	12.7	6.1	14.3	0.8	1.6	1.6	2.0
		85歳以上 (n= 121)	7.4	4.1	15.7	0.0	1.7	0.8	5.0
福祉圏域別（小学校区）	緑ヶ丘・滝坂 (n= 118)	11.0	1.7	10.2	0.0	0.8	2.5	1.7	
	若葉・調和 (n= 164)	11.0	6.7	11.0	0.6	2.4	2.4	1.2	
	上ノ原・柏野 (n= 147)	11.6	2.7	13.6	0.0	0.7	4.1	0.7	
	北ノ台・深大寺 (n= 127)	11.0	2.4	5.5	0.0	3.9	0.8	2.4	
	第二・八雲台・国領 (n= 213)	10.3	5.6	12.2	0.9	2.3	1.4	1.4	
	染地・杉森・布田 (n= 142)	14.1	1.4	12.0	0.0	1.4	0.7	0.0	
	第一・富士見台・多摩川 (n= 159)	20.8	6.9	6.3	0.6	1.3	1.9	0.6	
第三・石原・飛田給 (n= 180)	12.8	5.0	6.7	0.0	1.7	1.7	2.8		

- **経年**で比較すると、令和元年度は、平成28年度と同様に「同居の家族」が最も多く、「別居の家族や親戚」、「友人・知人」が続いている。

図表 3-21 困ったときの身近な相談相手（人・機関）（全体：複数回答）【経年比較】

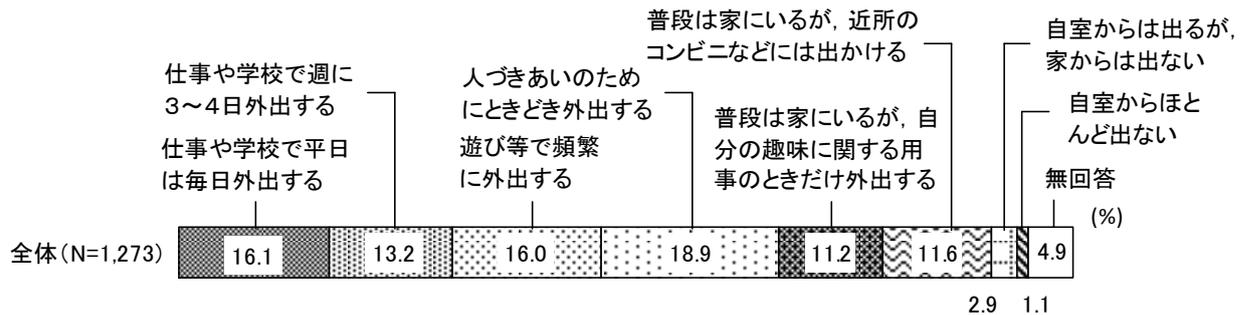


(3) 普段の外出状況 (問 10)

問 10 あなたは普段どのくらい外出しますか。(1つに○)

- 普段の外出状況は、「人づきあいのためにときどき外出する (18.9%)」が最も多く、「仕事や学校で平日は毎日外出する (16.1%)」, 「遊び等で頻繁に外出する (16.0%)」が続いている。

図表 3-22 普段の外出状況 (全体)



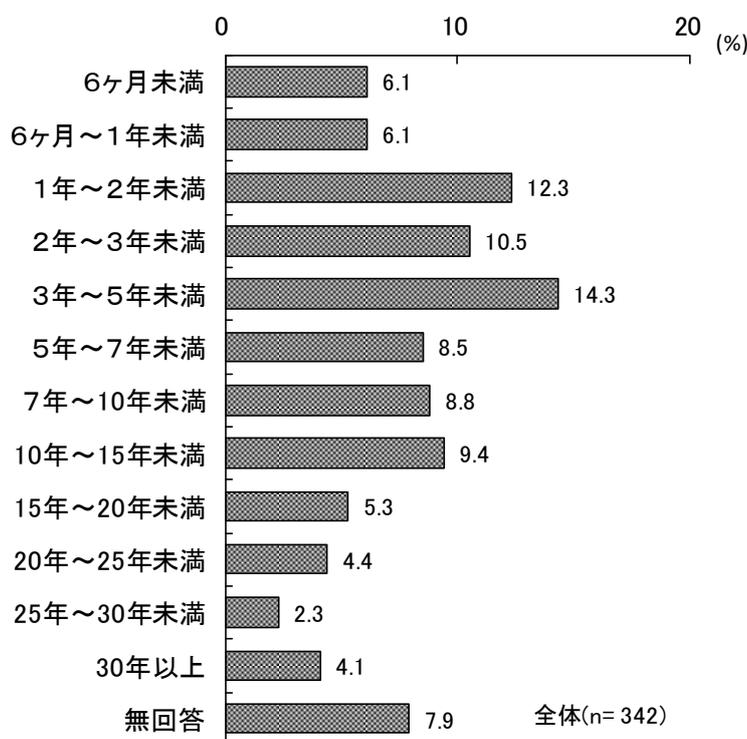
(4) 外出をしていない期間 (問 10-1)

問 10-1 問 10 で 5~8 と答えた方におたずねします。
現在の状態となつてどのくらい経ちますか。(1つに○)

- 普段の外出状況で「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事するときだけ外出する」、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からほとんど出ない」と答えた人に、外出をしていない期間についてたずねたところ、**全体**では、「3年～5年未満 (14.3%)」が最も多く、「1年～2年未満 (12.3%)」、「2年～3年未満 (10.5%)」が続いている。

図表 3-23 外出をしていない期間 (全体)

＜普段の外出状況で「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事するときだけ外出する」、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からほとんど出ない」と回答した人＞



(5) 外出をしなくなったきっかけ (問 10-2)

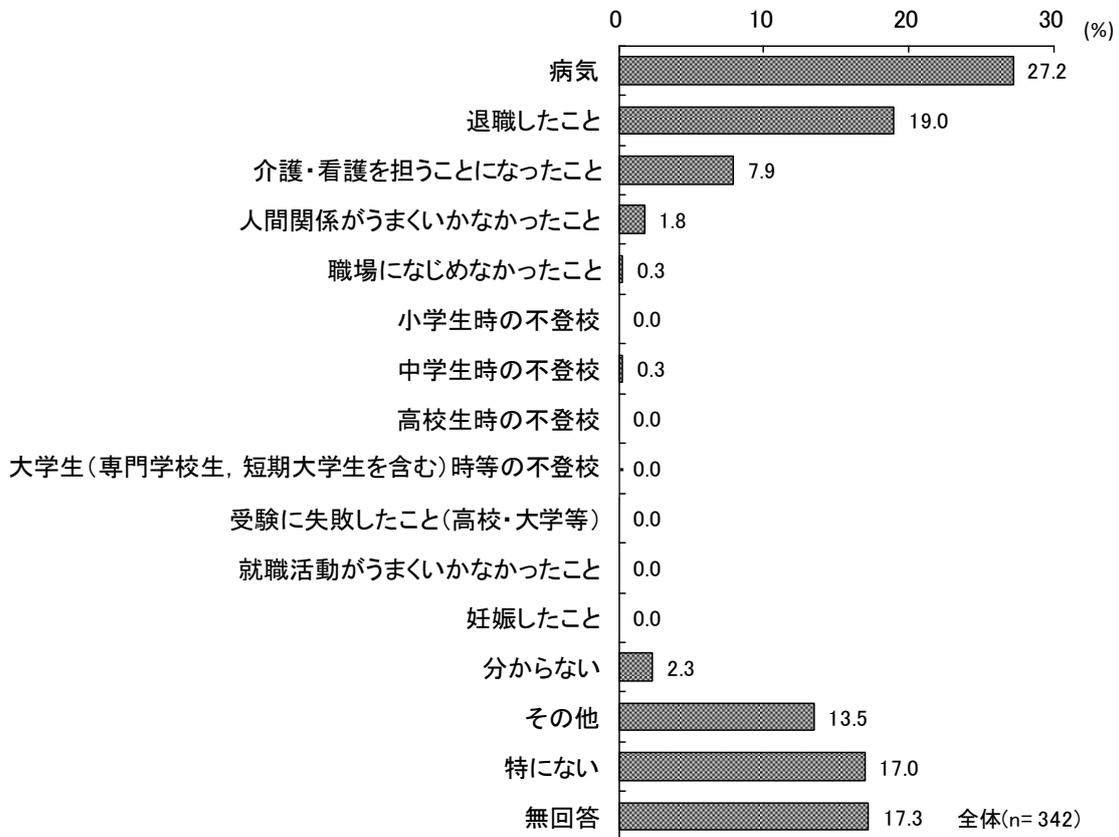
問 10-2 現在の状態になったきっかけは何ですか。(いくつでも○)

- 普段の外出状況で「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事するときだけ外出する」、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からほとんど出ない」と答えた人に、外出をしなくなったきっかけをたずねたところ、**全体**では、「病気 (27.2%)」が最も多く、「退職したこと (19.0%)」、「介護・看護を担うことになったこと (7.9%)」が続いている。「特にない」は 17.0%である。

II アンケート調査の結果

図表 3-24 外出をしなくなったきっかけ（全体：複数回答）

＜普段の外出状況で「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事するときだけ外出する」、
「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、
「自室からほとんど出ない」と回答した人＞



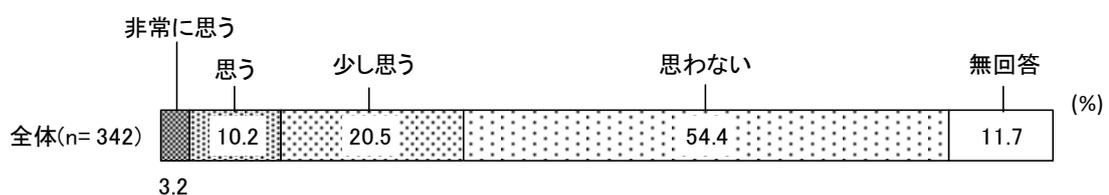
(6) 相談の意向 (問 10-3)

問 10-3 現在の状態について、関係機関に相談したいと思いますか。(1つに○)

- 普段の外出状況で「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事するときだけ外出する」、
「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、
「自室からほとんど出ない」と答えた人に、相談の意向をたずねたところ、《思う》*は 33.9%であり、「思わない」は 54.4%である。

図表 3-25 相談の意向 (全体)

＜普段の外出状況で「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事するときだけ外出する」、
「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、
「自室からほとんど出ない」と回答した人＞



* 「非常に思う」、「思う」、「少し思う」の合計。

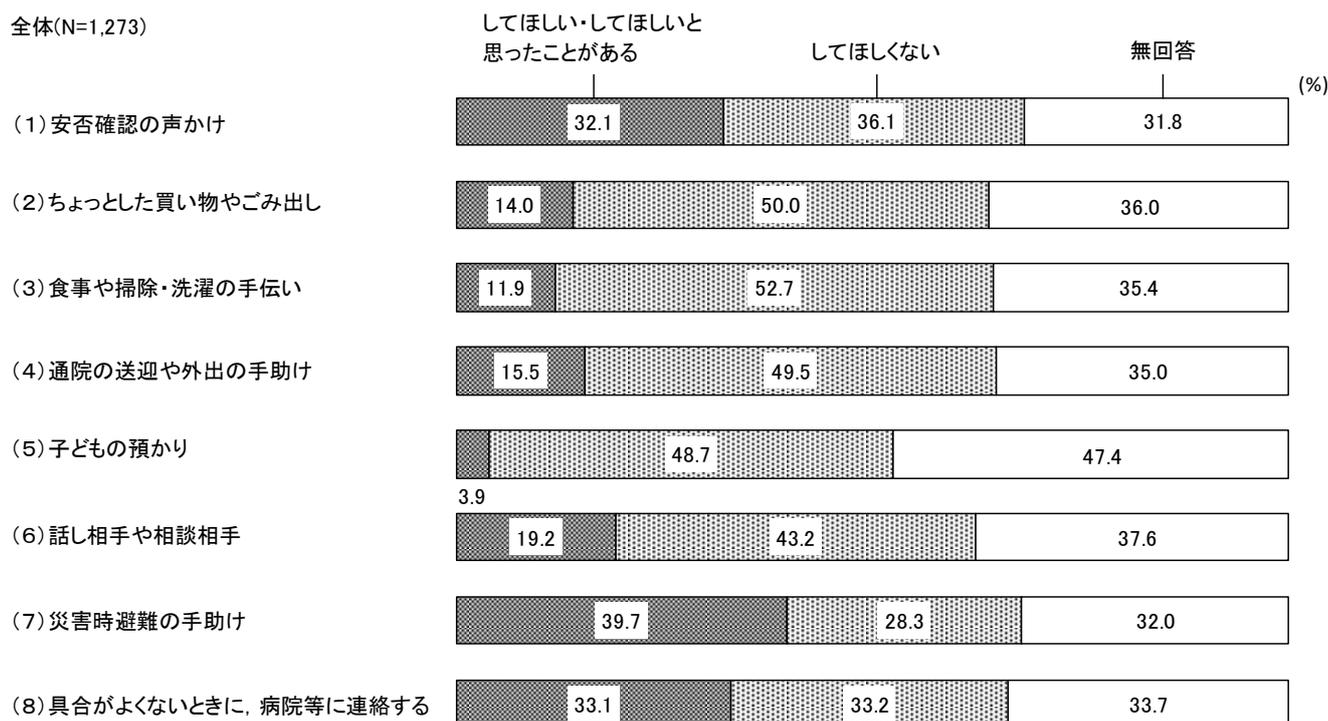
(7) 手助けしてほしいこと、できること (問11)

問11 ①あなたは家族以外のまわりの人から次のような手助けをしてほしいと思いますか。
 ②また、次のような手助けを家族以外のまわりの人にできますか。
 (1)～(8)について、①と②のそれぞれ1つに○をつけてください。

① 手助けしてほしいこと

- 手助けできることについて、「してほしい・してほしいと思ったことがある」の割合は、**全体**では、『災害時避難の手助け (39.7%)』が最も多く、『具合がよくな
いときに、病院等に連絡する (33.1%)』、『安否確認の声かけ (32.1%)』が続いて
いる。
- 手助けできることについて、「してほしい・してほしいと思ったことがある」の
割合を**福祉圏域別**にみると、若葉・調和小学校地域で『安否確認の声かけ』、それ
以外の地域で『災害時避難の手助け』が最も高くなっている。

図表 3-26 手助けしてほしいこと (全体)



Ⅱ アンケート調査の結果

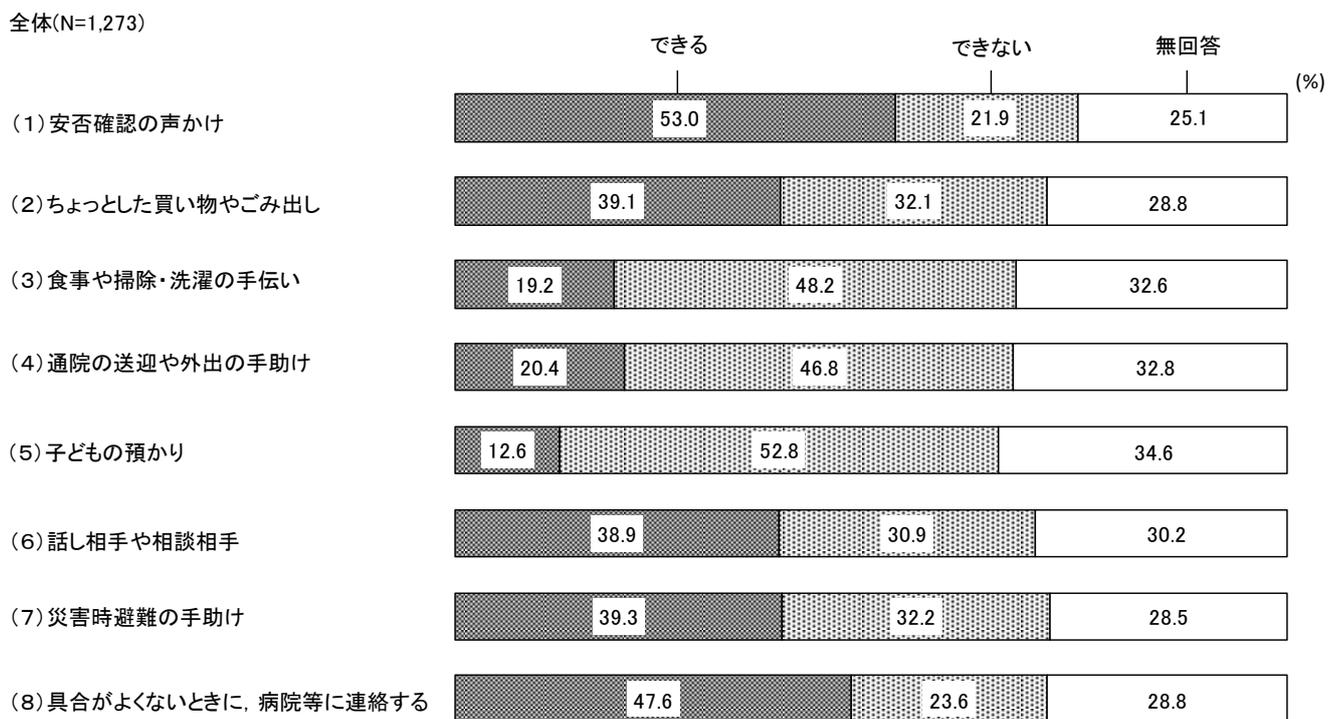
図表 3-27 手助けの希望（全体、福祉圏域別）
 <「してほしい・してほしいと思ったことがある」の割合>

		(%)								
		安否確認の 声かけ	ちよつとした 買い物 やごみ出し	食事や掃除・ 洗濯の 手伝い	通院の送迎や 外出の 手助け	子どもの預かり	話し相手や 相談相手	災害時避難の 手助け	具合がよくない ときに、病院等 に連絡する	
全	体 (N=1,273)	32.1	14.0	11.9	15.5	3.9	19.2	39.7	33.1	
福祉圏域別 (小学校区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 118)	25.4	10.2	11.9	16.1	2.5	15.3	33.9	37.3	
	若葉・調和 (n= 164)	32.9	14.0	12.2	11.0	5.5	17.7	31.1	26.8	
	上ノ原・柏野 (n= 147)	27.2	15.0	10.2	17.7	2.7	13.6	36.0	29.9	
	北ノ台・深大寺 (n= 127)	29.9	15.7	14.2	14.2	5.5	18.9	43.3	34.6	
	第二・八雲台・国領 (n= 213)	37.1	15.0	10.3	17.8	2.3	22.1	38.5	33.3	
	染地・杉森・布田 (n= 142)	31.7	9.9	12.0	12.7	1.4	16.2	37.3	28.2	
	第一・富士見台・多摩川 (n= 159)	33.3	17.6	15.1	18.9	8.8	24.5	49.0	40.2	
	第三・石原・飛田給 (n= 180)	35.0	12.8	10.6	14.4	3.3	21.7	46.7	33.3	

② 手助けできること

○ 手助けできることについて、「できる」の割合は、**全体**では、『安否確認の声かけ（53.0%）』、『具合がよくないときに、病院等に連絡する（47.6%）』が高くなっている。

図表 3-28 手助けできること（全体）



- **福祉圏域別**にみると、北ノ台・深大寺小学校地域と上ノ原・柏野小学校地域で『具合がよくないときに、病院等に連絡する』,それ以外の地域で『安否確認の声かけ』が最も多くなっている。

図表 3-29 今後の手助けの意向（全体，福祉圏域別）

＜「できる」の割合＞

(%)

		安否確認の声かけ	ちよつと出した買い物	食事や掃除・洗濯の手伝い	通院の送迎や外出の手助け	子どもの預かり	話し相手や相談相手	災害時避難の手助け	具合がよくないときに、病院等に連絡する
全	体 (N=1, 273)	53.0	39.1	19.2	20.4	12.6	38.9	39.3	47.6
福祉圏域別 (小学校区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 118)	49.2	38.1	18.6	20.3	16.1	29.7	39.0	42.3
	若葉・調和 (n= 164)	51.2	38.4	22.6	23.8	12.8	42.1	39.7	46.4
	上ノ原・柏野 (n= 147)	51.7	38.8	19.0	16.3	14.3	40.1	41.5	54.4
	北ノ台・深大寺 (n= 127)	46.5	40.2	21.3	22.8	11.0	35.4	36.2	48.0
	第二・八雲台・国領 (n= 213)	57.2	40.4	16.9	21.6	11.3	39.4	39.9	45.5
	染地・杉森・布田 (n= 142)	60.5	45.8	19.7	20.4	12.7	46.5	36.6	50.7
	第一・富士見台・多摩川 (n= 159)	56.6	39.6	19.5	20.1	16.4	39.7	45.9	51.6
	第三・石原・飛田給 (n= 180)	51.7	36.1	18.9	19.4	10.0	38.9	37.8	47.2

4 地域活動等の状況

(1) 地域活動・ボランティア活動への興味・関心の有無，取組状況（問 12）

問 12 調布市では、さまざまな地域活動・ボランティア活動が行われています。

① 次のような地域活動・ボランティア活動について、あなたは興味・関心がありますか。

② 現在、次のような地域活動・ボランティア活動にあなたは取り組んでいますか。

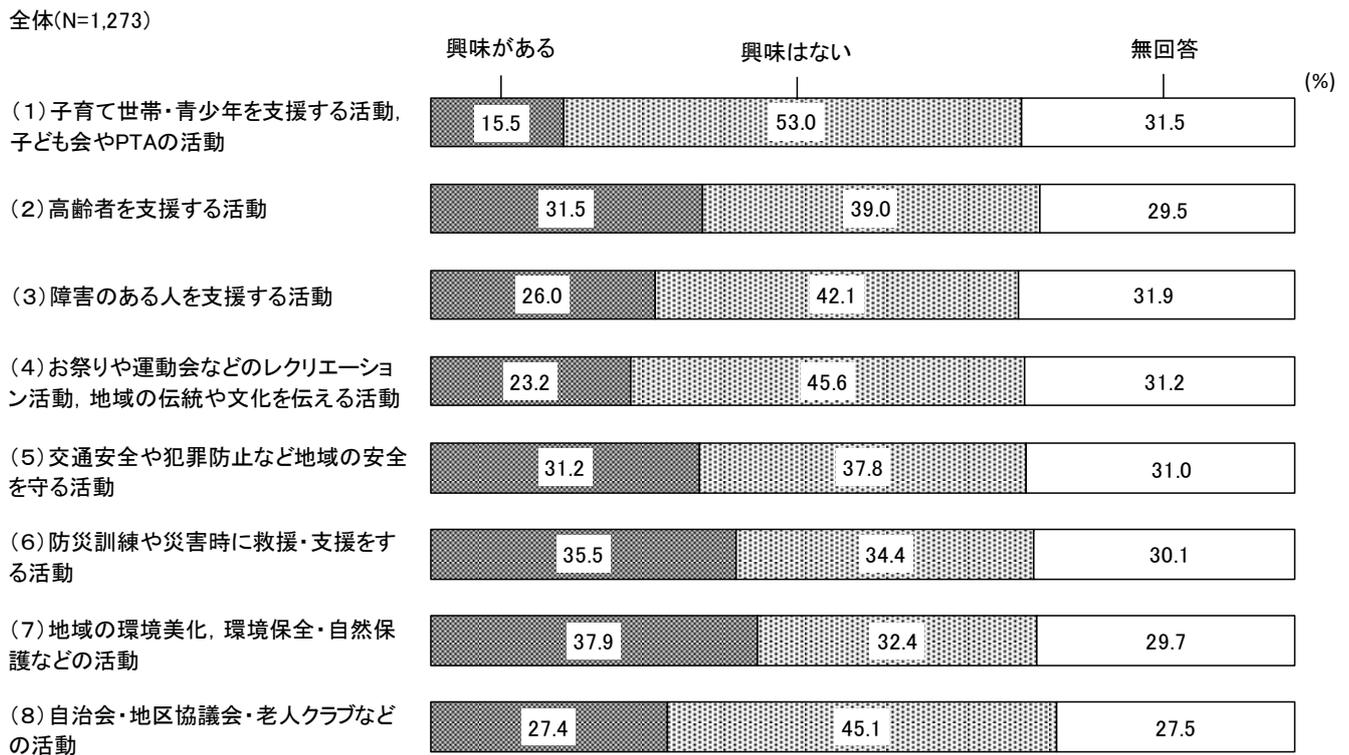
(1)～(8)について、①と②のそれぞれ1つに○をつけてください。

① 地域活動・ボランティア活動への興味・関心の有無

- 「興味がある」の割合は、**全体**では、『地域の環境美化，環境保全・自然保護などの活動 (37.9%)』が最も多く、『防災訓練や災害時に救援・支援をする活動 (35.5%)』、『高齢者を支援する活動 (31.5%)』が続いている。

II アンケート調査の結果

図表 3-30 地域活動・ボランティア活動への興味・関心の有無（全体）



○ 「興味がある」の割合を**福祉圏域別**にみると、緑ヶ丘・滝坂小学校地域と染地・杉森・布田小学校地域で『防災訓練や災害時に救援・支援をする活動』, それ以外の地域で『地域の環境美化, 環境保全・自然保護などの活動』が最も多くなっている。

図表 3-31 地域活動・ボランティア活動への興味・関心の有無（全体, 福祉圏域別）

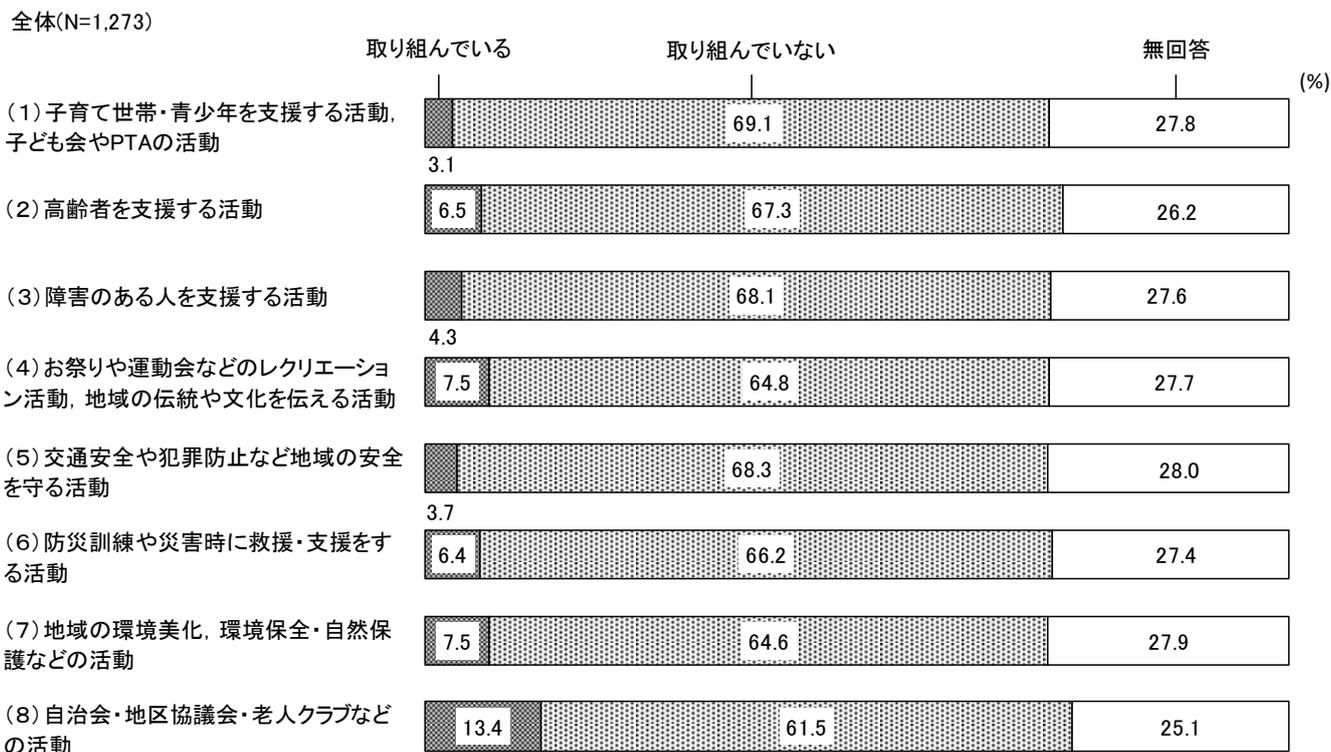
< 「興味がある」の割合 >

		(%)								
		活動する子ども会やPTAの活動	高齢者を支援する活動	障害のある人を支援する活動	お祭りや運動会などのレクリエーション活動	交通安全や犯罪防止など地域の安全を守る活動	防災訓練や災害時に救援・支援をする活動	地域の環境美化, 環境保全・自然保護などの活動	自治会・地区協議会・老人クラブなどの活動	
全	体 (N=1, 273)	15.5	31.5	26.0	23.2	31.2	35.5	37.9	27.4	
福祉圏域別 (小学校区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 118)	15.3	25.4	21.2	19.5	23.7	35.6	33.9	18.6	
	若葉・調和 (n= 164)	11.6	28.0	25.0	20.1	25.6	37.2	37.8	30.5	
	上ノ原・柏野 (n= 147)	19.7	29.9	29.3	25.2	32.7	34.7	37.4	24.5	
	北ノ台・深大寺 (n= 127)	15.7	29.9	27.6	24.4	33.1	32.3	38.6	25.2	
	第二・八雲台・国領 (n= 213)	21.6	39.0	30.5	29.1	35.2	36.6	40.9	31.9	
	染地・杉森・布田 (n= 142)	14.8	31.7	21.8	18.3	31.7	38.0	36.6	28.9	
	第一・富士見台・多摩川 (n= 159)	15.7	29.6	25.8	20.1	32.7	32.1	38.4	28.3	
	第三・石原・飛田給 (n= 180)	10.0	34.4	23.9	25.0	32.8	37.8	38.4	28.9	

② 地域活動・ボランティア活動への取組状況

○ 取組状況で「取り組んでいる」活動は、**全体**では、『自治会・地区協議会・老人クラブなどの活動 (13.4%)』が最も多く、『お祭りや運動会などのレクリエーション活動, 地域の伝統や文化を伝える活動 (7.5%)』と『地域の環境美化, 環境保全・自然保護などの活動 (7.5%)』が同率で続いている。

図表 3-32 地域活動・ボランティア活動への取組状況 (全体)



○ 「取り組んでいる」の割合を**福祉圏域別**にみると、すべての地域で『自治会・地区協議会・老人クラブなどの活動』が最も多くなっている。

図表 3-33 地域活動・ボランティア活動への取組状況 (全体, 福祉圏域別) <「取り組んでいる」の割合> (%)

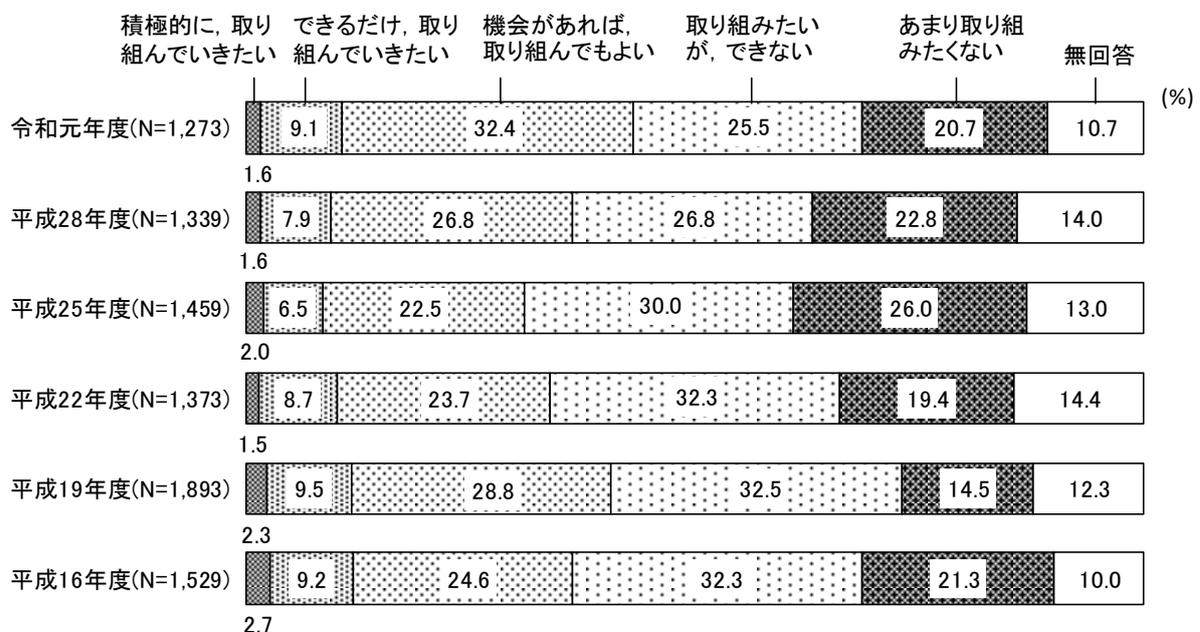
福祉圏域別 (小学校区)	活動内容	取り組んでいる (%)	高齢者を支援する活動 (%)	障害のある人を支援する活動 (%)	伝統や文化を伝える活動 (%)	お祭りや運動会などのレクリエーション活動 (%)	交通安全や犯罪防止など地域の安全を守る活動 (%)	防災訓練や災害時に救援・支援をする活動 (%)	地域の環境美化, 環境保全, 自然保護などの活動 (%)	自治会・地区協議会・老人クラブなどの活動 (%)
全 体	(N=1, 273)	3.1	6.5	4.3	7.5	3.7	6.4	7.5	13.4	
福祉圏域別 (小学校区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 118)	1.7	5.1	5.1	6.8	0.8	6.8	5.1	11.0	
	若葉・調和 (n= 164)	3.0	6.1	4.9	8.5	4.3	9.8	11.0	15.9	
	上ノ原・柏野 (n= 147)	3.4	3.4	4.8	5.4	6.1	4.8	6.8	11.6	
	北ノ台・深大寺 (n= 127)	0.0	3.1	3.1	3.9	0.0	0.8	3.1	8.7	
	第二・八雲台・国領 (n= 213)	4.7	9.9	6.1	12.7	5.6	9.4	8.9	15.5	
	染地・杉森・布田 (n= 142)	3.5	8.5	3.5	7.7	3.5	7.0	7.7	19.0	
	第一・富士見台・多摩川 (n= 159)	5.0	6.9	6.3	8.2	6.3	5.7	10.1	10.7	
	第三・石原・飛田給 (n= 180)	2.2	7.2	1.1	5.0	1.7	6.1	5.6	13.9	

(2) 地域活動・ボランティア活動への取組意向 (問 13)

問 13 あなたは、今後、地域活動・ボランティア活動等に取り組んでいきたいと考えていますか。(1つに○)

- 地域活動・ボランティア活動への取組意向は、**全体**では、「機会があれば、取り組んでもよい(32.4%)」が最も多く、「取り組みたいが、できない(25.5%)」、「あまり取り組みたくない(20.7%)」が続いている。
- **経年**で比較すると、令和元年度は、「積極的に、取り組んでいきたい」と「できるだけ、取り組んでいきたい」の割合は、平成16年度以降の調査と同様の傾向で、どちらも1割以下であるが、「機会があれば、取り組んでもよい」の割合は、32.4%と初めて3割を超えている。

図表 3-34 地域活動・ボランティア活動への取組意向 (全体)【経年比較】

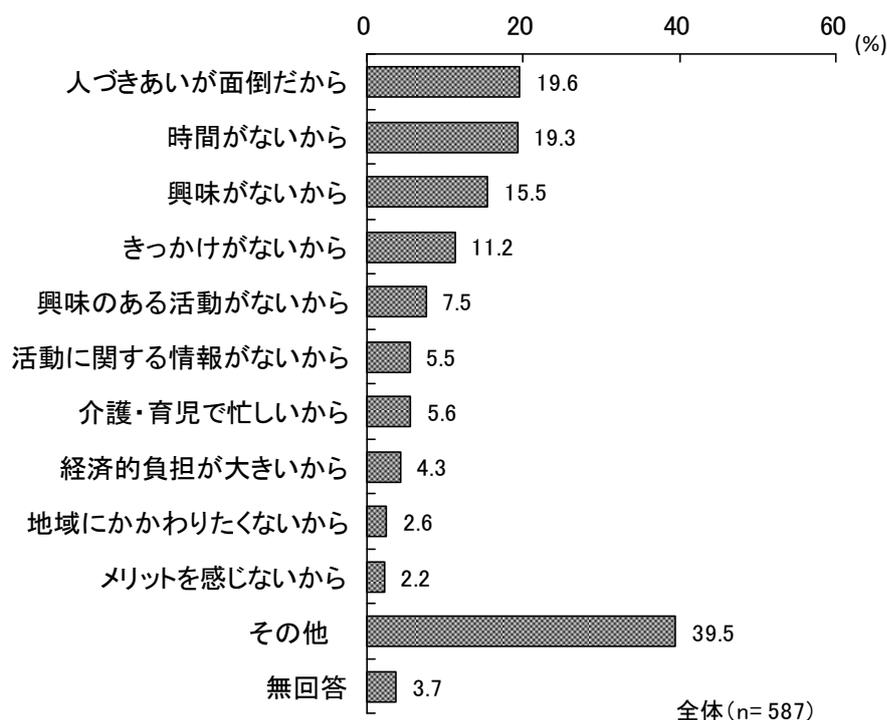


(3) 地域活動・ボランティア活動に取り組まない理由 (問 13-1)

問 13-1 問 13 でで 4 または 5 と答えた方におたずねします。
地域活動・ボランティア等に取り組まない理由は何ですか。(いくつでも○)

- 「取り組みたいが、できない」と「あまり取り組みたくない」と回答した人に取り組まない理由をたずねたところ、「人づきあいが面倒だから(19.6%)」が最も多く、「時間がないから(19.3%)」、「興味がないから(15.5%)」が続いている。
- また、「その他」として、健康上の理由や、高齢による理由を挙げる人が多い。

図表 3-35 地域活動・ボランティア活動に取り組まない理由（全体）
 <「取り組みたいが、できない」、「あまり取り組みたくない」と回答した方>



(4) 地域活動・ボランティア活動に参加しやすい条件（問 14）

問 14 どのような条件であれば、地域活動・ボランティア活動等に参加・活動しやすいと思いますか。（いくつでも○）

- 地域活動・ボランティア活動へ参加しやすい条件は、**全体**では、「時間や期間にあまりしぼられない (41.3%)」が最も多く、「身近なところに活動できる場があること (34.2%)」、「適切な指導者やリーダーがいること (19.6%)」が続いている。また、「条件によらず、参加したくない」は9.3%である。
- **地域活動の取組状況別**にみると、取り組んでいる人*も取り組んでいない人も「時間や期間にあまりしぼられない」が最も多くなっている。また、取り組んでいる人は、「時間や期間にあまりしぼられない」、「身近なところに活動できる場があること」、「友人と一緒に参加できること」、「適切な指導者やリーダーがいること」が全体と比べ 10 ポイント以上高くなっている。

II アンケート調査の結果

図表 3-36 地域活動・ボランティア活動に参加しやすい条件
(全体、地域活動の取組状況別：複数回答)

		(%)						
		や介子	紹に活	参友	いま時	あ活身	こり適	
		つ護ど	介関動	加人	り間	る動近	とー切	
		てもも	しす内	で等	しや	こでな	とダな	
		らわ世	てる容	きと	ば期	ときと	一指	
		うり話	く情や	る一	ら間	るこ	が導	
		にや	れ報団	こ緒	れに	場ろ	い者	
			るを体	とに	なあ	がに	るや	
全	体 (N=1, 273)	1.6	11.0	11.5	41.3	34.2	19.6	
地域活動の 取組状況別	取り組んでいる (n= 297)	3.7	19.9	25.6	59.9	58.2	33.0	
	取り組んでいない (n= 661)	1.2	11.0	7.3	42.7	31.2	18.8	

		等がこ活	や活	そ	分	参条	無
		あと動	援動	他	か	加件	回
		るでに	助資		ら	しに	答
		(メ参加	が金		な	たよ	
		報リ加	あの		い	くら	
		酬ツす	る補			ず、	
		ト	助			い	
全	体 (N=1, 273)	4.7	5.1	3.8	15.6	9.3	18.0
地域活動の 取組状況別	取り組んでいる (n= 297)	7.7	11.1	3.4	5.7	3.4	7.4
	取り組んでいない (n= 661)	4.7	4.2	4.5	20.6	13.8	10.0

※地域活動・ボランティア活動への取組状況（問 12）で（1）～（8）の地域活動・ボランティア活動のうち1つでも「取り組んでいる」と答えた人

(5) 市の福祉ボランティア養成講座等の認知度，参加意向（問 15）

問 15 調布市では、福祉ボランティアの養成講座を開催しています。

①あなたは、次のような養成講座をご存知でしたか。

②あなたは、今後次のような養成講座に参加したいと思いますか。

（1）～（3）について、①と②のそれぞれ1つに○をつけてください。

① 市の福祉ボランティア養成講座等の認知度

○ 市の福祉ボランティア養成講座等の認知度は、すべての項目で「知っていた」の割合が1割台である。

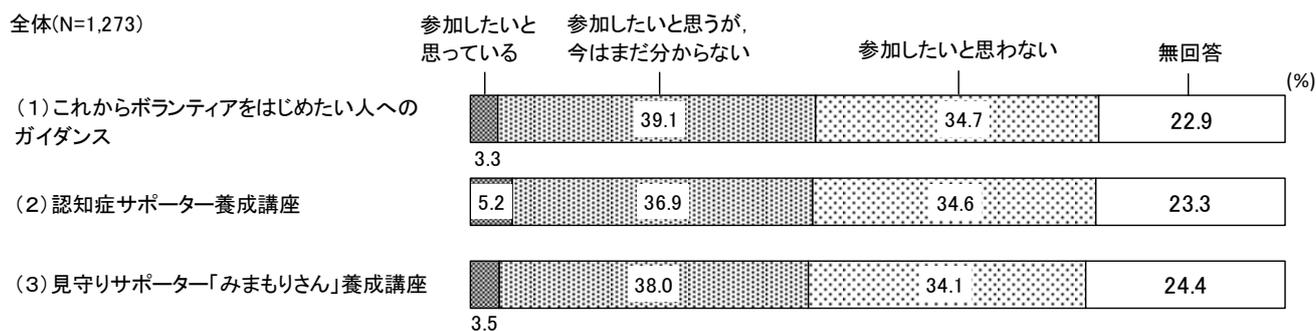
図表 3-37 市の福祉ボランティア養成講座等の認知度（全体）



② 市の福祉ボランティア養成講座等への参加意向

- 市の福祉ボランティア養成講座等への参加意向は、いずれの項目でも「参加したいと思っている」は1割未満であるが、「参加したいと思うが、今はまだ分からない」は3割台となっている。
- 一方、「参加したいと思わない」はいずれの項目でも3割台となっている。

図表 3-38 市の福祉ボランティア養成講座等への参加意向（全体）



(6) 身近な拠点の利用状況（問 16）

問 16 これまであなたが身近な活動拠点として利用している施設は、次のうちどこですか。
(いくつでも○)

- 身近な拠点の利用状況は、**全体**では、「図書館（24.6%）」が最も多く、「文化会館たづくり（21.8%）」が続いている。「特にない」は37.5%である。
- **性・年代別**にみると、男性・65～74歳、男性・75～84歳、女性・65歳～74歳で「図書館」、男性・85歳以上で「地域福祉センター」、女性・75～84歳、女性・85歳以上は「文化会館たづくり」がそれぞれ最も多くなっている。「特にない」の割合は、男性・65～74歳で53.1%と最も高く、女性・75～84歳で27.5%と最も低くなっている。
- **福祉圏域別**にみると、第二・八雲台・国領小学校地域で「ふれあいの家」、染地・杉森・布田小学校地域、第一・富士見台・多摩川小学校地域で「図書館」が全体と比べ5ポイント以上高くなっている。第一・富士見台・多摩川小学校地域は「文化会館たづくり」も全体と比べ5ポイント以上高くなっている。

II アンケート調査の結果

図表 3-39 身近な活動拠点の利用状況（全体，性・年代別，福祉圏域別：複数回答）

			文化会館 たづくり	地域福祉 センター	総合福祉 センター	市民活動 支援セン ター	ふれあいの 家	公民館	図書館
全 体 (N=1, 273)			21.8	13.7	4.7	1.8	5.7	5.6	24.6
性・年代別	男性	65～74歳 (n= 258)	19.4	7.0	1.6	0.8	3.1	5.0	26.0
		75～84歳 (n= 186)	24.2	13.4	4.8	2.7	5.4	5.4	30.1
		85歳以上 (n= 54)	14.8	22.2	7.4	1.9	1.9	7.4	20.4
	女性	65～74歳 (n= 285)	24.6	12.6	4.9	2.5	3.9	4.6	28.8
		75～84歳 (n= 244)	25.8	23.0	8.2	1.6	11.1	7.0	22.1
		85歳以上 (n= 121)	16.5	11.6	3.3	0.8	4.1	3.3	10.7
福祉圏域別 (小学校区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 118)		16.1	15.3	0.8	0.0	2.5	5.9	20.3
	若葉・調和 (n= 164)		17.1	17.7	6.1	4.3	1.8	8.5	23.2
	上ノ原・柏野 (n= 147)		20.4	10.2	4.1	0.0	6.1	6.8	25.2
	北ノ台・深大寺 (n= 127)		13.4	10.2	2.4	1.6	3.1	1.6	20.5
	第二・八雲台・国領 (n= 213)		25.4	11.7	5.6	3.3	12.7	5.2	23.9
	染地・杉森・布田 (n= 142)		26.1	19.7	5.6	2.1	7.0	2.1	29.6
	第一・富士見台・多摩川 (n= 159)		32.7	11.3	6.3	2.5	3.8	8.2	33.3
	第三・石原・飛田給 (n= 180)		19.4	14.4	5.6	0.0	5.6	5.6	21.7

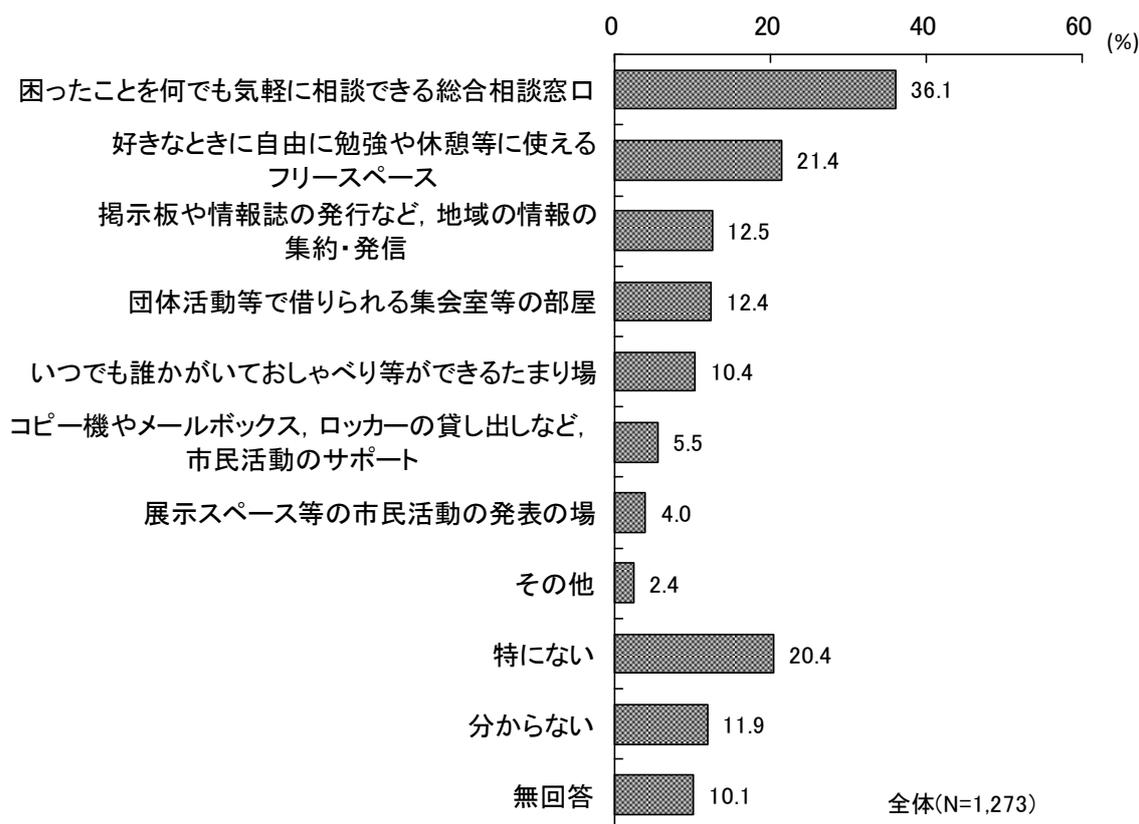
			小学校・ 中学校	民間の 施設	個人 宅	その 他	特 に な い	無 回 答
全 体 (N=1, 273)			3.2	6.3	3.6	4.6	37.5	9.5
性・年代別	男性	65～74歳 (n= 258)	4.7	6.2	2.7	3.5	53.1	3.1
		75～84歳 (n= 186)	5.9	4.8	1.1	4.3	33.9	11.3
		85歳以上 (n= 54)	1.9	1.9	0.0	0.0	42.6	14.8
	女性	65～74歳 (n= 285)	3.2	8.1	5.3	5.6	36.1	5.3
		75～84歳 (n= 244)	2.0	6.1	4.9	4.9	27.5	8.6
		85歳以上 (n= 121)	0.8	7.4	5.8	5.0	33.9	24.0
福祉圏域別 (小学校区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 118)		2.5	6.8	1.7	3.4	45.8	9.3
	若葉・調和 (n= 164)		4.9	4.3	3.7	5.5	36.6	8.5
	上ノ原・柏野 (n= 147)		2.0	3.4	3.4	3.4	38.1	12.2
	北ノ台・深大寺 (n= 127)		1.6	8.7	4.7	7.1	48.0	7.1
	第二・八雲台・国領 (n= 213)		4.7	6.6	1.9	5.6	34.7	9.9
	染地・杉森・布田 (n= 142)		1.4	7.7	4.2	3.5	30.3	8.5
	第一・富士見台・多摩川 (n= 159)		5.0	5.7	5.7	3.8	32.1	8.2
	第三・石原・飛田給 (n= 180)		2.8	7.8	4.4	4.4	38.3	9.4

(7) 拠点の機能に関する希望 (問 17)

問 17 あなたが身近な活動拠点に求める機能は、どのようなものですか。(3つまで○)

- 拠点の機能に関する希望は、「困ったことを何でも気軽に相談できる総合相談窓口 (36.1%)」が最も多く、「好きなときに自由に勉強や休憩等に使えるフリースペース (21.4%)」, 「掲示板や情報誌の発行など, 地域の情報の集約・発信 (12.5%)」続いている。

図表 3-40 拠点の機能に関する希望 (全体：複数回答 (3つまで))



5 就労

(1) 就労状況 (問 18)

問 18 あなたは現在, どのような仕事をしていますか。(1つに○)

- 現在の就労状況は, **全体**では, 《仕事をしている》*の割合は 31.6%であり, 3割を占めている。
- **性・年代別**にみると, 《仕事をしている》の割合は男性も女性も年代が上がるにつれて, 割合が低くなっており, 男性・65~74歳で 55.9%, 女性・65~74歳で 37.3%となっている。
- **福祉圏域別**にみると, 《仕事をしている》の割合は北ノ台・深大寺小学校地域で 36.2%と最も高く, 染地・杉森・布田小学校地域で 21.8%と最も低くなっている。

II アンケート調査の結果

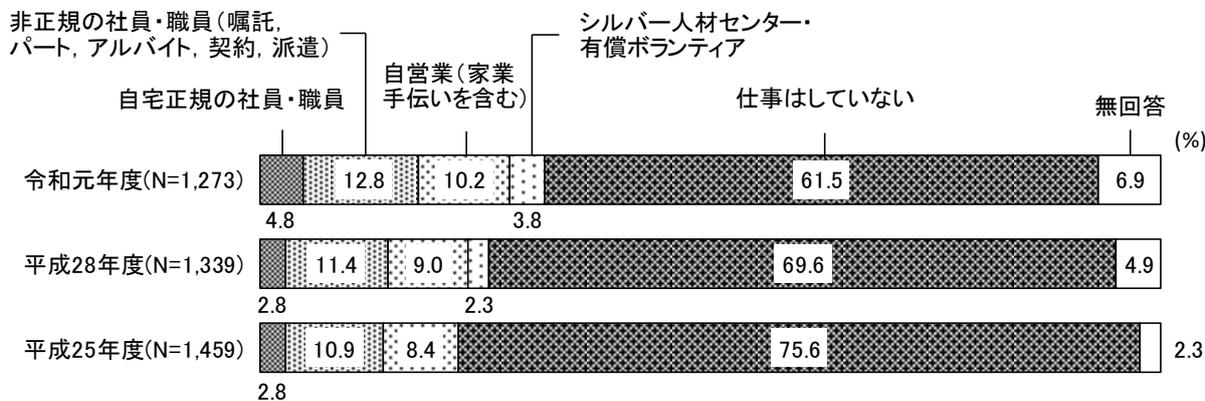
図表 3-41 就労状況（全体，性・年代別，家族構成別，福祉圏域別）

		(%)						(%)			
		正規の社員・職員	パート（嘱託、契約、派遣）	自営業（家業手伝いを含む）	シルバー人材センター・有償ボランティア	仕事はしていない	無回答	《仕事をしている》	《仕事をしていない》	無回答	
全	体 (N=1,273)	4.8	12.8	10.2	3.8	61.5	6.9	31.6	61.5	6.9	
性・年代別	男性	65～74歳 (n= 258)	10.9	25.6	13.6	5.8	41.0	3.1	55.9	41.0	3.1
		75～84歳 (n= 186)	2.7	8.6	11.8	7.5	64.6	4.8	30.6	64.6	4.8
		85歳以上 (n= 54)	0.0	0.0	13.0	1.9	70.3	14.8	14.9	70.3	14.8
	女性	65～74歳 (n= 285)	6.0	17.9	10.2	3.2	60.9	1.8	37.3	60.9	1.8
		75～84歳 (n= 244)	1.2	4.9	7.8	2.5	76.6	7.0	16.4	76.6	7.0
		85歳以上 (n= 121)	0.8	0.0	3.3	0.0	73.6	22.3	4.1	73.6	22.3
家族構成別	ひとり暮らし (n= 272)	4.8	12.9	6.3	2.9	62.4	10.7	26.9	62.4	10.7	
	夫婦のみ (n= 585)	4.3	11.8	10.6	3.4	64.9	5.0	30.1	64.9	5.0	
	その他 (n= 387)	5.9	14.7	12.9	5.2	56.1	5.2	38.7	56.1	5.2	
福祉圏域別（小学校区）	緑ヶ丘・滝坂 (n= 118)	2.5	10.2	11.0	3.4	67.0	5.9	27.1	67.0	5.9	
	若葉・調和 (n= 164)	7.3	12.2	10.4	2.4	62.2	5.5	32.3	62.2	5.5	
	上ノ原・柏野 (n= 147)	4.8	13.6	11.6	4.8	57.0	8.2	34.8	57.0	8.2	
	北ノ台・深大寺 (n= 127)	6.3	11.0	16.5	2.4	60.7	3.1	36.2	60.7	3.1	
	第二・八雲台・国領 (n= 213)	4.2	14.6	8.5	4.7	60.5	7.5	32.0	60.5	7.5	
	染地・杉森・布田 (n= 142)	4.2	9.2	5.6	2.8	69.0	9.2	21.8	69.0	9.2	
	第一・富士見台・多摩川 (n= 159)	4.4	12.6	13.8	5.0	57.9	6.3	35.8	57.9	6.3	
	第三・石原・飛田給 (n= 180)	4.4	16.1	7.2	3.3	62.3	6.7	31.0	62.3	6.7	

※《仕事をしている》：「正規の社員・職員」，「非正規の社員・職員（嘱託，パート，アルバイト，契約，派遣）」，「自営業（家業手伝いを含む）」，「シルバー人材センター・有償ボランティア」の合計。

- **経年**で比較すると、「仕事はしていない」の割合は，平成 25 年度は 75.6%であったが，平成 28 年度は 69.6%，令和元年度は 61.5%であり，仕事をしている人の割合が高くなっている。

図表 3-42 就労状況（全体）【経年比較】



※平成 25 年度は「シルバー人材センター・有償ボランティア」は選択肢にない。

(2) 今後の就労意向 (問 19)

問 19 あなたは今後、どのような仕事をしたい (続けたい) ですか。(1つに○)

- 今後の就労意向は、**全体**では、《就労意向あり》*の割合は 34.7%である。
- **性別**にみると、《就労意向あり》の割合は、男性が 45.3%で、4割を超えており、女性は 26.1%である。
- **年代別**にみると、《就労意向あり》の割合は、65～74歳で 51.0%、75～84歳で 26.2%を占めている。
- **性・年代別**にみると、《就労意向あり》の割合は、年代が上がるほど低くなり、男性・65～74歳で 61.2%と6割を占め、女性・65～74歳で 41.4%と4割を占めている。

図表 3-43 今後の就労意向 (全体, 性別, 年代別, 性・年代別)

		(%)						(%)			
		正規の社員・職員	非正規の社員・職員 (嘱託、パート、アルバイト、派遣)	自営業 (家業手伝いを含む)	シルバー人材センター・有償ボランティア	仕事をしなくてもいい	無回答	《就労意向あり》	《就労意向なし》	無回答	
全	体 (N=1,273)	3.5	13.7	8.9	8.6	47.1	18.2	34.7	61.5	6.9	
性別	男性 (n= 570)	5.6	18.9	11.2	9.6	40.3	14.4	45.3	53.2	5.3	
	女性 (n= 688)	1.7	9.4	7.0	8.0	53.3	20.6	26.1	68.7	7.8	
年代別	65～74歳 (n= 544)	6.1	24.3	10.1	10.5	39.4	9.6	51.0	51.4	2.4	
	75～84歳 (n= 432)	1.2	5.1	9.3	10.6	54.1	19.7	26.2	71.3	6.0	
	85歳以上 (n= 175)	0.0	0.6	4.6	1.1	58.8	34.9	6.3	72.5	20.0	
性・年代別	男性	65～74歳 (n= 258)	9.3	30.2	11.2	10.5	31.0	7.8	61.2	41.0	3.1
		75～84歳 (n= 186)	1.6	7.5	12.4	12.4	49.4	16.7	33.9	64.6	4.8
		85歳以上 (n= 54)	0.0	1.9	7.4	3.7	55.5	31.5	13.0	70.3	14.8
	女性	65～74歳 (n= 285)	3.2	18.6	9.1	10.5	47.4	11.2	41.4	60.9	1.8
		75～84歳 (n= 244)	0.8	3.3	6.6	9.4	57.8	22.1	20.1	76.6	7.0
		85歳以上 (n= 121)	0.0	0.0	3.3	0.0	60.3	36.4	3.3	73.6	22.3

※《就労意向あり》: 「正規の社員・職員」, 「非正規の社員・職員 (嘱託, パート, アルバイト, 契約, 派遣)」, 「自営業 (家業手伝いを含む)」, 「シルバー人材センター・有償ボランティア」の合計。

《就労意向なし》: 「仕事をしなくてもいい, したくない」と答えた人。

(3) 仕事をしたい理由 (問 19-1)

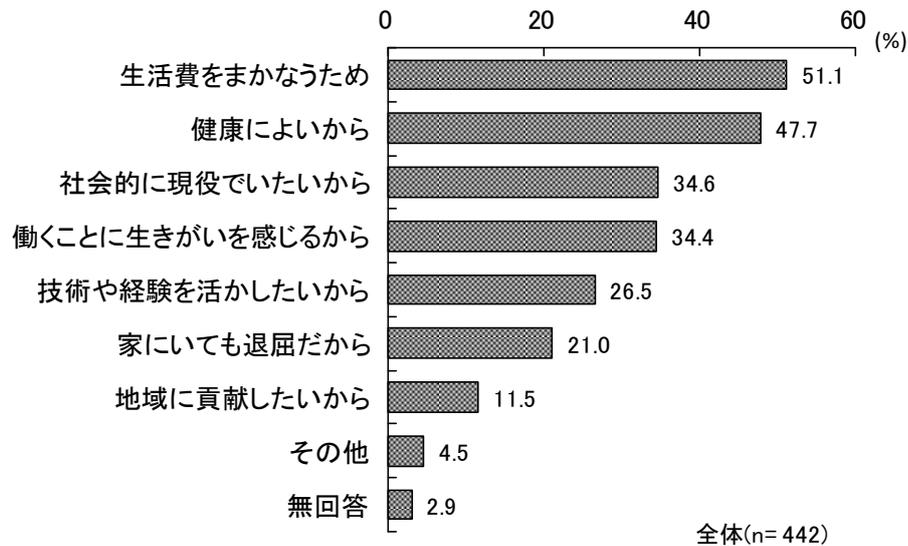
問 19-1 問 19 で 1～4 と答えた方におたずねします。

仕事をしたい理由は何ですか。(いくつでも○)

- 仕事をしたい (続けたい) と回答した人に仕事をしたい理由をたずねたところ、「生活費をまかなうため (51.1%)」が最も多く、「健康によいから (47.7%)」, 「社会的に現役でいたいから (34.6%)」が続いている。

図表 3-44 仕事をしたい理由（全体：複数回答）

<仕事をしたい（続けたい）と回答した方>



6 健康・医療

(1) 「高齢者」を意識する年齢（問 20）

問 20 あなたが、「高齢者」と意識する年齢は、何歳からだと思っていますか。あなたの意識にもっとも近いものをお答えください。（1つに○）

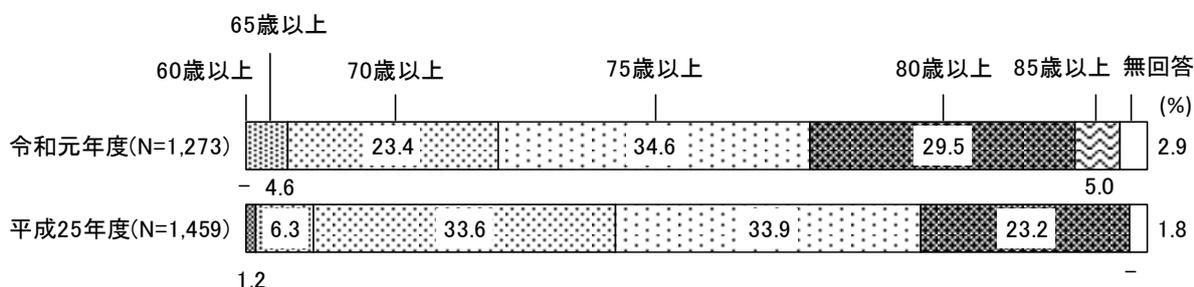
- 「高齢者」を意識する年齢は、**全体**では、「75 歳以上 (34.6%)」が最も多く、「80 歳以上 (29.5%)」が続いている。
- **性・年代別**にみると、男性・65～74 歳，女性・65～74 歳，女性・75～84 歳で「75 歳以上」，男性・74～84 歳，男性・85 歳以上，女性・85 歳以上で「80 歳以上」がそれぞれ最も多くなっている。

図表 3-45 「高齢者」を意識する年齢（全体，性・年代別）

			65 歳以上	70 歳以上	75 歳以上	80 歳以上	85 歳以上	無回答
全 体 (N=1, 273)			4.6	23.4	34.6	29.5	5.0	2.9
性・年代別	男性	65～74歳 (n= 258)	9.7	31.8	36.8	18.2	1.6	1.9
		75～84歳 (n= 186)	1.6	15.6	36.0	37.6	6.5	2.7
		85歳以上 (n= 54)	1.9	11.1	22.2	40.7	20.4	3.7
	女性	65～74歳 (n= 285)	6.0	31.9	36.0	23.9	0.4	1.8
		75～84歳 (n= 244)	1.2	20.9	39.0	34.0	2.9	2.0
		85歳以上 (n= 121)	2.5	8.3	21.5	42.1	18.2	7.4

- **経年**で比較すると、令和元年度は《75歳以上》*が69.1%で平成25年度の57.1%より12.0ポイント高くなっている。

図表3-46 「高齢者」を意識する年齢（全体）【経年比較】



※平成25年度では「85歳以上」が選択肢になく、令和元年度は「60歳以上」が選択肢にない。
 ※《75歳以上》：令和元年度は「75歳以上」、「80歳以上」、「85歳以上」の合計。平成25年度は「75歳以上」、「80歳以上」の合計。

(2) 主観的健康観（問21）

問21 あなたの健康状態についてお答えください。（1つに○）

- 主観的健康観は、**全体**では、「おおむね健康で普通に生活している（62.4%）」が最も多く、「健康に不安がある（20.4%）」が続いている。
- **性・年代別**にみると、男女ともに「健康に不安がある」の割合は年代が上がるほど高くなっており、男性・85歳以上で37.0%、女性・85歳以上で32.2%である。女性・85歳以上は「病気や障害があつて、日常生活が困難である（18.2%）」が全体と比べ10ポイント以上高くなっている。
- **家族構成別**にみると、ひとり暮らしは「健康に不安がある」が27.6%と全体と比べ7.2ポイント高くなっている。

図表3-47 主観的健康観（全体、性・年代別、家族構成別）

			（%）					
			大変健康である	普通におおむね生活している	健康に不安がある	活があつて、日常生活が困難である	病気や障害がある	無回答
全 体 (N=1,273)			7.5	62.4	20.4	7.2	2.5	
性・年代別	男性	65～74歳 (n= 258)	10.5	70.1	13.6	3.5	2.3	
		75～84歳 (n= 186)	5.4	62.3	21.5	8.6	2.2	
		85歳以上 (n= 54)	3.7	48.1	37.0	9.3	1.9	
	女性	65～74歳 (n= 285)	8.4	73.3	14.7	3.2	0.4	
		75～84歳 (n= 244)	7.0	58.6	23.0	9.4	2.0	
		85歳以上 (n= 121)	2.5	39.7	32.2	18.2	7.4	
家族構成別	ひとり暮らし (n= 272)	8.5	51.4	27.6	9.2	3.3		
	夫婦のみ (n= 585)	8.7	64.9	17.6	6.2	2.6		
	その他 (n= 387)	5.2	67.1	19.4	6.7	1.6		

(3) 健康に不安があることの内容 (問 21-1)

問 21-1 問 21 で「3. 健康に不安がある」と答えた方におたずねします。
以下のうち、当てはまるものすべてに○をつけてください。(いくつでも○)

- 「健康に不安がある」と回答した人の内容は、**全体**では、「外出することが難しくなった (27.7%)」が最も多く、「固いものが食べにくくなった (27.3%)」が続いている。また、「その他」として、持病があること、足腰の痛み、体力・筋力の低下などの理由を挙げる人が多い。
- **性・年代別**にみると、女性は「その他」と「当てはまるものはない」を除いたすべての項目で、年代が上がるにつれ、割合が高くなっている。「当てはまるものはない」の割合は男性・64～74歳で25.7%，女性・65～74歳で26.2%である。

図表 3-48 健康に不安があることの内容 (全体, 性・年代別: 複数回答)
<主観的健康観で「健康に不安がある」と回答した方>

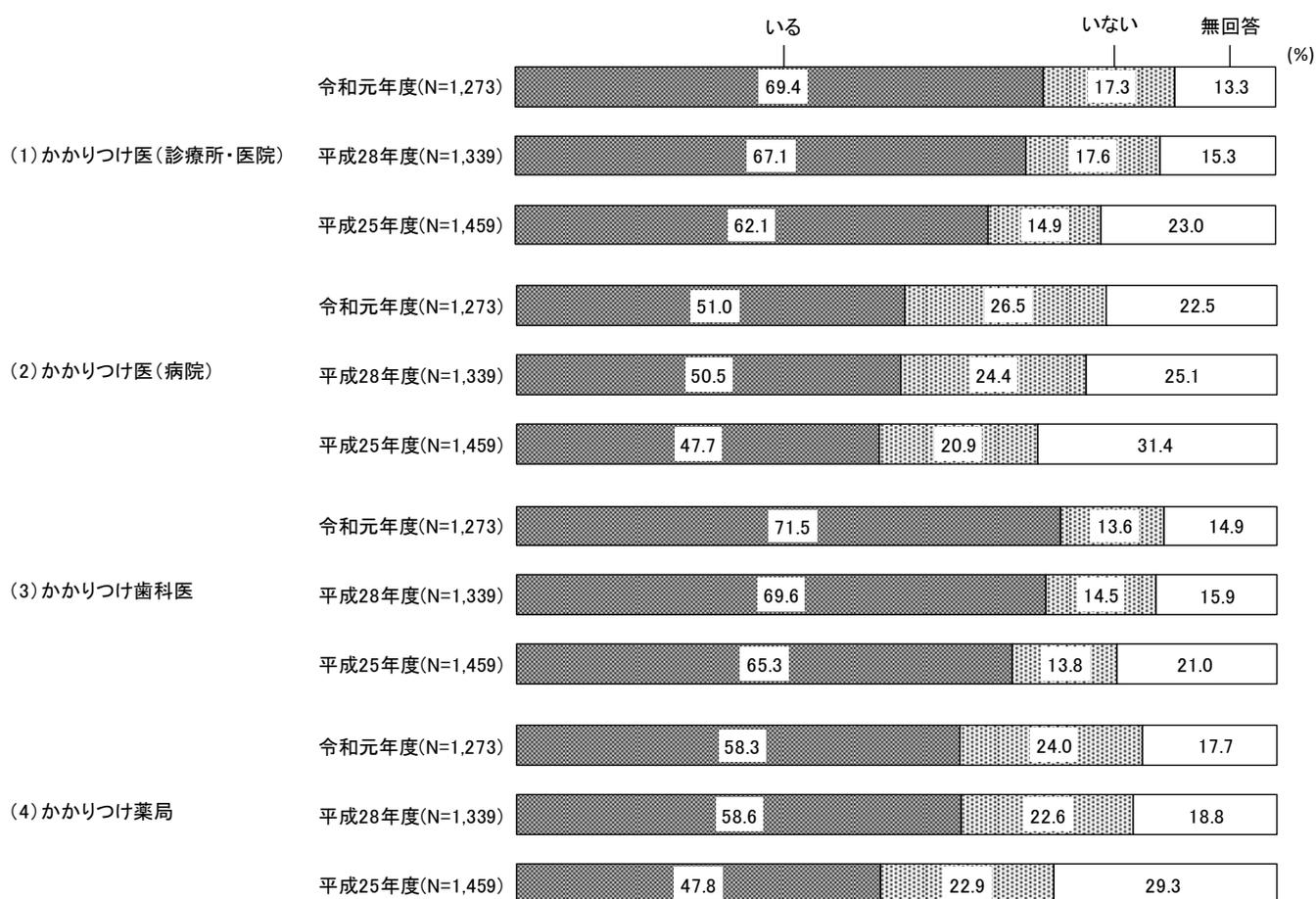
			な 転 つ 倒 た す る こ と が 多 く	な 固 つ い た も の が 食 べ に く く	う お に 茶 な や つ 汁 た 物 で む せ る よ	わ れ が 多 の く 人 な か ら 「も と の 言 忘	な 外 つ 出 す る こ と が 難 し く	入 浴 が 難 し く な っ た	そ の 他	当 て は ま る も の は な い	(%) 無 回 答	
全	体	(n=260)	16.5	27.3	18.1	20.8	27.7	13.5	29.6	15.8	2.7	
性・年代別	男性	65～74歳	(n= 35)	8.6	20.0	14.3	14.3	8.6	2.9	42.9	25.7	0.0
		75～84歳	(n= 40)	20.0	27.5	7.5	30.0	20.0	10.0	35.0	15.0	0.0
		85歳以上	(n= 20)	15.0	20.0	30.0	30.0	55.0	25.0	20.0	5.0	0.0
	女性	65～74歳	(n= 42)	9.5	11.9	9.5	2.4	11.9	0.0	33.3	26.2	9.5
		75～84歳	(n= 56)	17.9	25.0	19.6	21.4	21.4	1.8	28.6	12.5	3.6
		85歳以上	(n= 39)	30.8	51.3	30.8	25.6	64.1	51.3	23.1	5.1	2.6

(4) かかりつけ医・歯科医・薬局の有無 (問 22)

問 22 あなたには、「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬局」※はありますか。
 (1)～(4)について、それぞれ1つに○をつけてください。

- かかりつけ医・歯科医・薬局の有無は、「いる」の割合は、**全体**では、すべての項目で5割を超えており、特に「かかりつけ歯科医 (71.5%)」が7割を超え高くなっている。
- **経年**で比較すると、令和元年度は平成28年度・平成25年度に比べ、診療所・医院、病院、歯科医において「いる」の割合が高くなっている。

図表 3-49 かかりつけ医・歯科医・薬局の有無 (全体) 【経年比較】



(5) アドバンス・ケア・プランニングや終活ノート等の認知度や活用状況（問 23）

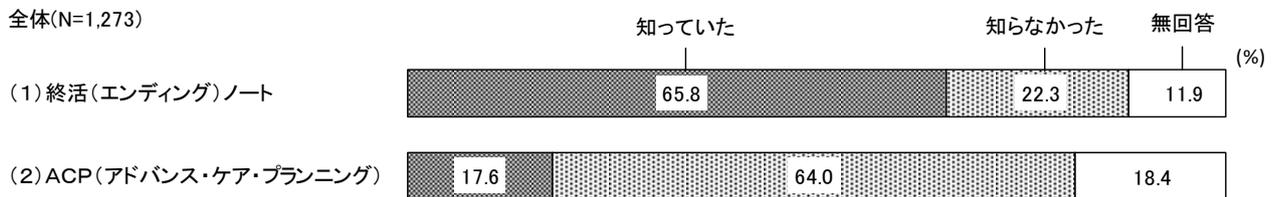
問 23 近年、人生のエンディングに向けて、元気なうちから様々な準備をする活動が広がっています。

- ①あなたは、次のような事柄をご存知でしたか。
 - ②あなたは、今後次のような事柄を活用したいと思いますか。
- （１）～（２）について、①と②のそれぞれ１つに○をつけてください。

① 人生のエンディングに向けた事柄の認知度

人生のエンディングに向けた事柄について「知っていた」の割合は、『終活（エンディング）ノート』が 65.8%，『ACP（アドバンス・ケア・プランニング）』が 17.6% である。

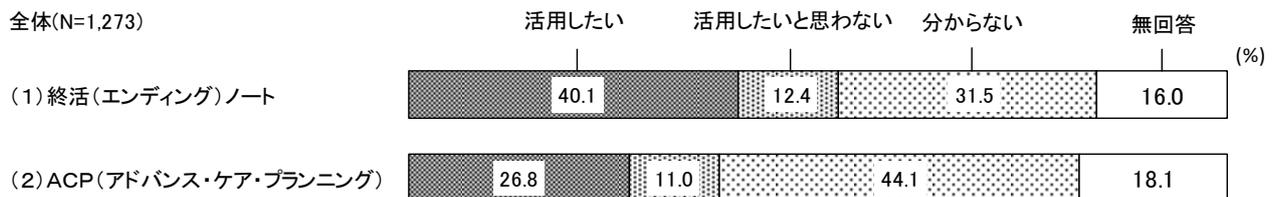
図表 3-50 人生のエンディングに向けた事柄の認知度（全体）



② 人生のエンディングに向けた事柄の利用意向

人生のエンディングに向けた事柄について「活用したい」の割合は、『終活（エンディング）ノート』が 40.1%，『ACP（アドバンス・ケア・プランニング）』が 26.8% である。

図表 3-51 人生のエンディングに向けた事柄の利用意向（全体）

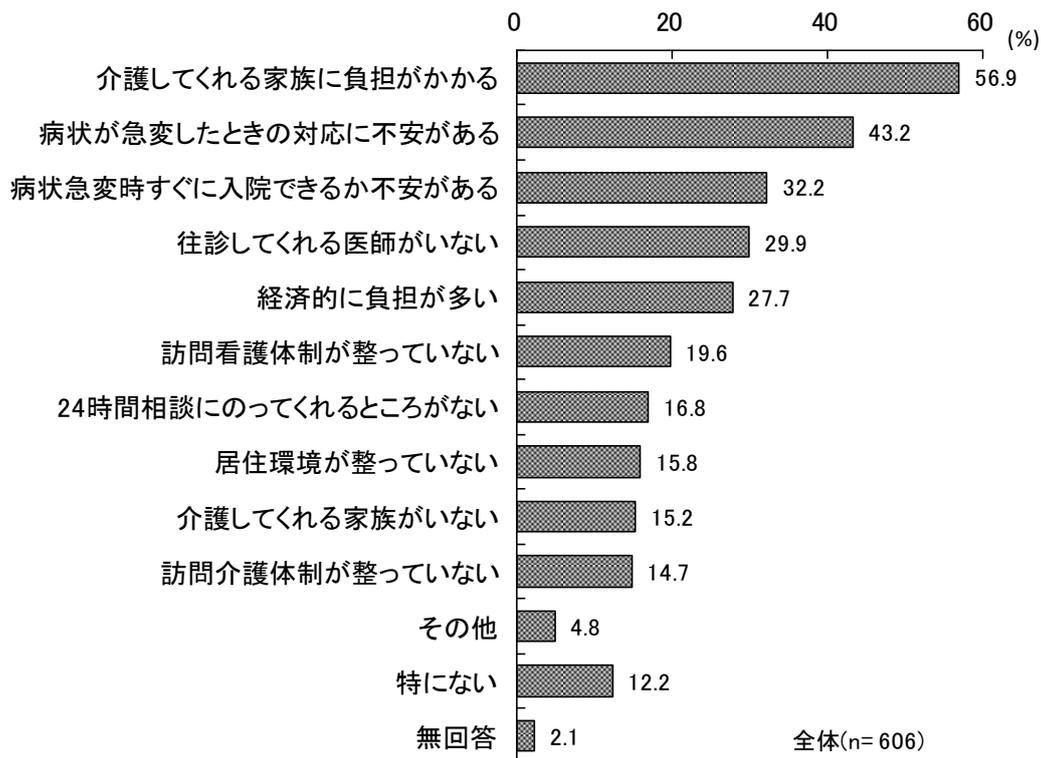


(7) 自宅で終末期を過ごすにあたって、不安なこと (問 24-1)

問 24-1 問 24 で「2. 自宅」と答えた方におたずねします。
 自宅で終末期を過ごすにあたって、不安なことはありますか。以下のうち、当てはまるものすべてに○をつけてください。(いくつでも○)

- 自宅で終末期を過ごすにあたって、不安なことは、**全体**では、「介護してくれる家族に負担がかかる (56.9%)」が最も多く、「病状が急変したときの対応に不安がある (43.2%)」、「病状急変時すぐに入院できるか不安がある (32.2%)」が続いている。
- **性・年代別**にみると、男性も女性も 65～74 歳と 75 歳～84 歳で「介護してくれる家族に負担がかかる」、85 歳以上で「病状が急変したときの対応に不安がある」が最も多くなっている。
- また、**家族構成別**にみると、ひとり暮らしは「病状が急変したときの対応に不安がある」、夫婦のみとその他は「介護してくれる家族に負担がかかる」が最も多くなっている。

図表 3-54 自宅で終末期を過ごすにあたって、不安なこと (全体：複数回答)



7 介護予防

(1) 参加を希望する健康づくり事業、事業の形式 (問 25)

問 25 調布市では、健康管理や介護予防のためにさまざまな健康づくり事業を行っています。
 どのような健康づくり事業に参加したいですか。

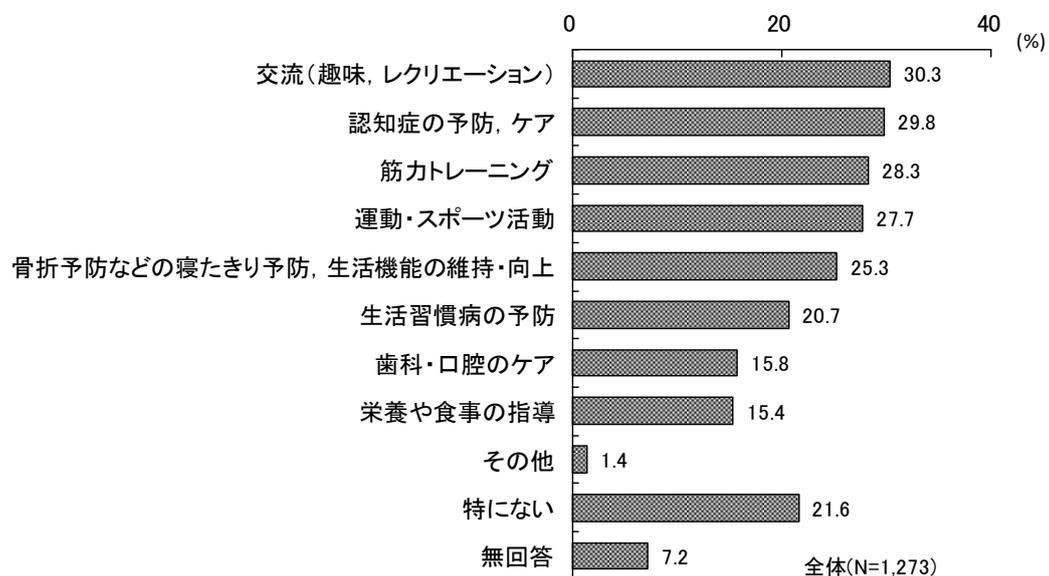
(1) あなたは将来に向けて、どのような種類の健康づくりの事業に参加してみたいですか。
 (いくつでも○)

(2) どのような形式の健康づくりの事業に参加してみたいですか。(いくつでも○)

① 参加を希望する健康づくり事業

○ 「交流(趣味, レクリエーション) (30.3%)」が最も多く, 「認知症の予防, ケア (29.8%)」, 「筋力トレーニング (28.3%)」が続いている。

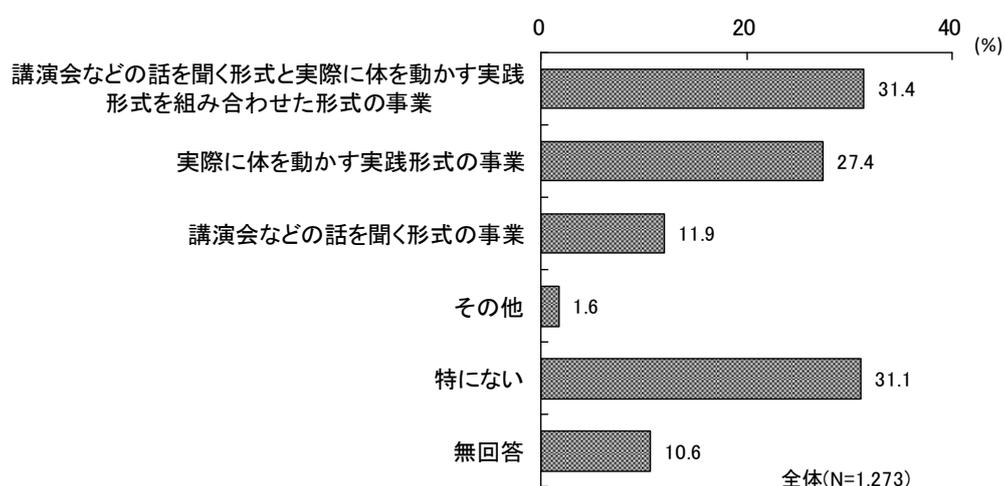
図表 3-56 参加を希望する健康づくり事業 (全体: 複数回答)



② 参加を希望する健康づくり事業の形式

○ 「講演会などの話を聞く形式と実際に体を動かす実践形式を組み合わせた形式の事業 (31.4%)」が最も多く, 「実際に体を動かす実践形式の事業 (27.4%)」が続いている。「特にない」は31.1%である。

図表 3-57 参加を希望する健康づくり事業の形式 (全体: 複数回答)



8 介護者支援

(1) 介護経験の有無 (問 26)

問 26 あなたは介護（遠距離介護を含む）をしていますか。また、していましたか。（1つに○）

- 介護経験の有無は、**全体**では、「介護している」は約1割，《介護経験あり》*の割合は約3割である。
- **性別**にみると，《介護経験あり》の割合は、男性で17.4%，女性で40.7%である。
- **性・年代別**にみると，《介護経験あり》の割合は男性も女性も年代が上がるにつれて低くなっており，男性・65～74歳で20.1%，女性・65～74歳で46.3%となっている。

図表 3-58 介護経験の有無（全体，性・年代別）

		(%)				(%)			
		介護している	介護を終えた	介護していない	無回答	《介護経験あり》	《介護経験なし》	無回答	
全	体 (N=1,273)	9.5	20.6	62.0	7.9	30.1	62.0	7.9	
性 別	男性 (n= 570)	6.7	10.7	74.2	8.4	17.4	74.2	8.4	
	女性 (n= 688)	11.9	28.8	52.3	7.0	40.7	52.3	7.0	
性・ 年代 別	男 性	65～74歳 (n= 258)	8.1	12.0	74.9	5.0	20.1	74.9	5.0
		75～84歳 (n= 186)	5.9	10.8	72.0	11.3	16.7	72.0	11.3
		85歳以上 (n= 54)	5.6	5.6	74.0	14.8	11.2	74.0	14.8
	女 性	65～74歳 (n= 285)	13.3	33.0	51.6	2.1	46.3	51.6	2.1
		75～84歳 (n= 244)	13.9	24.6	54.9	6.6	38.5	54.9	6.6
		85歳以上 (n= 121)	4.1	30.6	48.8	16.5	34.7	48.8	16.5

※ 《介護経験あり》：「介護している」，「介護を終えた」の合計。
 《介護経験なし》：「介護していない」の数値。

(2) 介護の対象者 (問 26-1)

問 26-1 問 26 で 1 または 2 と 答 えた 方 に お た ず ね し ます。
 それはどなたですか。（いくつでも○）

- 「介護をしている」，「介護を終えた」と回答した人に介護の対象者をたずねたところ，**全体**では，「実の父母（54.0%）」が最も多く，「配偶者（28.7%）」が続いている。
- **性・年代別**にみると，男性・65～74歳と女性・65～74歳で「実の父母」，女性・75～84歳，女性・85歳以上で「配偶者」が全体と比べ10ポイント以上高くなっている。

II アンケート調査の結果

図表 3-59 介護の対象者（全体，性・年代別：複数回答）

＜介護経験の有無で「介護している」と回答した方＞

											(%)	
			実の 祖 父 母	実の 父 母	配 偶 者	配 偶 者 の 祖 父 母	配 偶 者 の 父 母	兄 弟 ・ 姉 妹	娘 ・ 息 子	そ の 他	無 回 答	
全	体	(n=383)	0.3	54.0	28.7	2.6	22.5	5.5	2.3	3.9	0.8	
性・ 年代 別	男性	65～74歳	(n= 52)	0.0	78.8	1.9	3.8	21.2	1.9	0.0	1.9	0.0
		75～84歳	(n= 31)	3.2	41.9	35.5	3.2	3.2	9.7	9.7	6.5	0.0
		85歳以上	(n= 6)	0.0	0.0	83.3	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
	女性	65～74歳	(n=132)	0.0	67.4	13.6	2.3	28.0	4.5	0.8	3.8	0.8
		75～84歳	(n= 94)	0.0	36.2	45.7	1.1	23.4	6.4	4.3	4.3	2.1
		85歳以上	(n= 42)	0.0	33.3	61.9	7.1	26.2	7.1	2.4	0.0	0.0

（3）認知症カフェ等介護者の集いの場の認知や参加の意向（問 27）

問 27 調布市では、介護をされている方が交流や情報共有し合える「介護者のための集いの場」（認知症カフェ等）があります。

（1）あなたは、「介護者のための集いの場」があることをご存知でしたか。（1つに○）

（2）あなたは今後、「介護者のための集いの場」に参加してみたいですか。（1つに○）

① 認知症カフェ等介護者の集いの場の認知度

- 認知症カフェ等介護者の集いの場の認知度は、「知っていた」が 17.1%、「知らなかった」が 74.7%である。

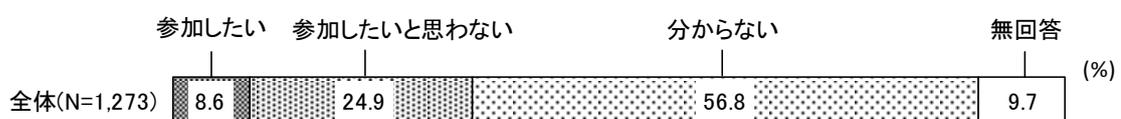
図表 3-60 認知症カフェ等介護者の集いの場の認知度（全体）



② 認知症カフェ等介護者の集いの場への参加意向

- 認知症カフェ等介護者の集いの場への参加意向は、「参加したい」が 8.6%、「参加したいと思わない」が 24.9%である。「分からない」は 56.8%である。

図表 3-61 認知症カフェ等介護者の集いの場への参加意向（全体）



(4) 必要な介護者支援策 (問 28)

問 28 介護者支援策として、あなたが必要だと思うことは次のどれですか。(いくつでも○)

- 介護者に必要な支援策は、**全体**では、「介護者が気軽に休息がとれる機会づくり (37.8%)」が最も多く、「介護者に対する定期的な情報提供 (34.6%)」が続いている。
- **性別**にみると、男性は「介護者に対する定期的な情報提供」、女性は「介護者が気軽に休息がとれる機会づくり」が最も多くなっている。「特にない」の割合は、男性が 20.7%、女性が 12.9%である。
- **年代別**にみると、65～74歳で「介護者が気軽に休息がとれる機会づくり」と「介護者が仕事を続けることができる支援制度、再就職支援施策」が全体と比べ5ポイント以上高くなっている。
- **介護経験の有無別**にみると、介護経験がある人は、「介護者が仕事を続けることができる支援制度、再就職支援施策」が全体と比べ5ポイント以上高くなっている。

図表 3-62 必要な介護者支援策 (全体, 性別, 年代別, 介護経験の有無別: 複数回答)

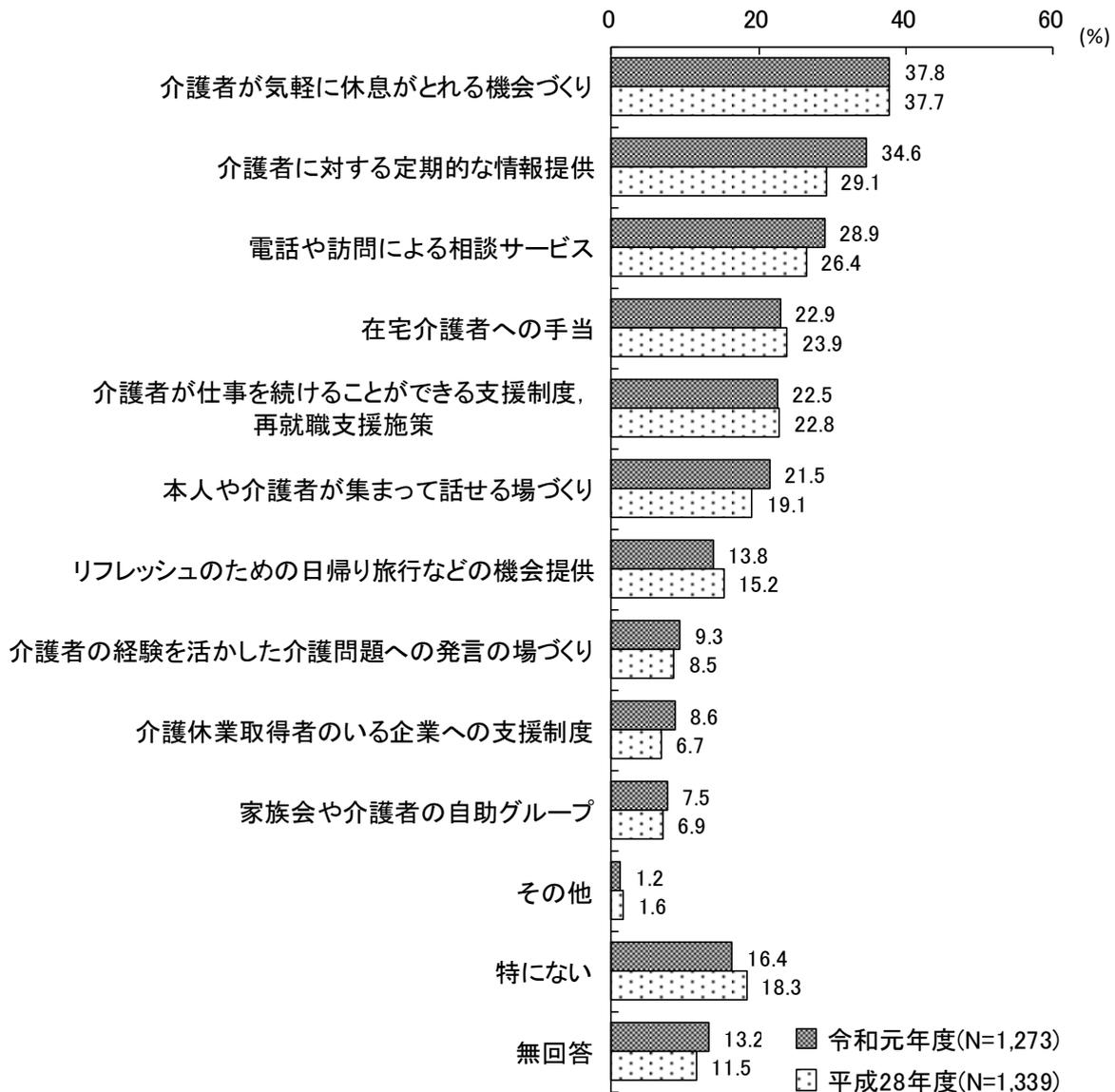
		定期的な情報提供する	介護者が気軽に休息がとれる機会づくり	行なわれる機会提供	たりついでに	電話相談や訪問による	集まったりして介護者が	家族や介護者の	在宅介護者への
全 体 (N=1,273)		34.6	37.8	13.8	28.9	21.5	7.5	22.9	
性別	男性 (n= 570)	34.0	30.4	15.1	25.6	19.3	6.5	22.8	
	女性 (n= 688)	35.5	44.3	12.8	32.1	23.5	8.0	23.0	
年代別	65～74歳 (n= 544)	38.1	45.0	16.4	32.7	24.3	9.7	26.3	
	75～84歳 (n= 432)	33.6	36.3	12.5	27.1	20.8	5.1	20.8	
	85歳以上 (n= 175)	29.7	25.1	8.0	24.6	15.4	5.7	18.9	
介護経験の有無別	介護経験ある (n= 383)	36.0	43.6	14.4	32.1	21.1	9.1	25.8	
	介護経験ない (n= 790)	37.2	38.2	14.9	29.7	23.7	7.3	23.5	

		介護休業取得の者	再就職支援制度、策	介護者が仕事を続けることができる	介護者の経験の場	その他	特にない	無回答
全 体 (N=1,273)		8.6	22.5	9.3	1.2	16.4	13.2	
性別	男性 (n= 570)	7.2	20.2	6.8	1.1	20.7	12.3	
	女性 (n= 688)	9.9	24.4	11.5	1.3	12.9	13.2	
年代別	65～74歳 (n= 544)	12.3	30.9	10.3	0.9	15.3	6.1	
	75～84歳 (n= 432)	6.7	16.2	10.6	1.2	17.1	14.8	
	85歳以上 (n= 175)	3.4	14.3	4.0	1.7	16.0	26.3	
介護経験の有無別	介護経験ある (n= 383)	12.5	29.0	13.1	3.1	15.4	7.3	
	介護経験ない (n= 790)	7.6	21.6	8.1	0.4	18.2	9.2	

Ⅱ アンケート調査の結果

- **経年**で比較すると、令和元年度は、平成28年度と同様に、「介護者が気軽に休息がとれる機会づくり」が最も多く、「介護者に対する定期的な情報提供」、「電話や訪問による相談サービス」が続いている。令和元年度は、「介護者に対する定期的な情報提供」が5.5ポイント高くなっている。

図表 3-63 必要な介護者支援策（全体：複数回答）【経年変化】



9 認知症

(1) 認知症になった場合の暮らしや備えの状況 (問 29)

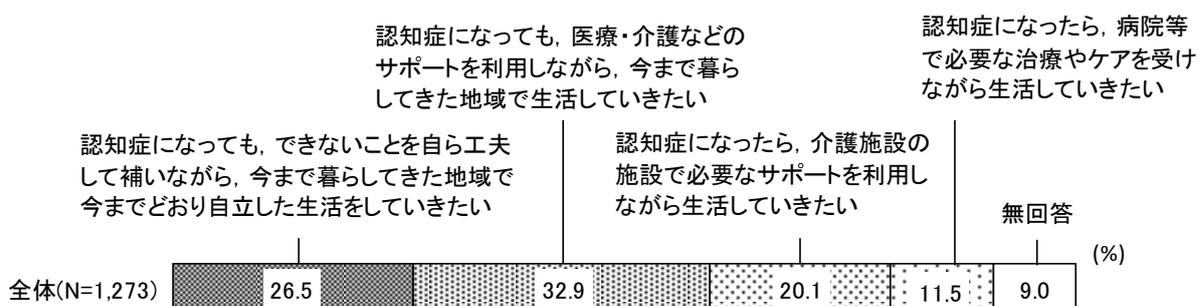
問 29 あなたが認知症になった際のお考えについておたずねします。

- (1) あなたが認知症になったとしたら、どのように暮らしたいと思いますか。最も近いと思うものをお答えください。(1つに○)
- (2) あなたが認知症になったときのために、備えていることはありますか。(いくつでも○)

① 認知症になった場合の暮らし

- 認知症になった場合の暮らしについて、「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい (32.9%)」が最も多く、「認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で今までどおり自立した生活をしていきたい (26.5%)」が続いている。

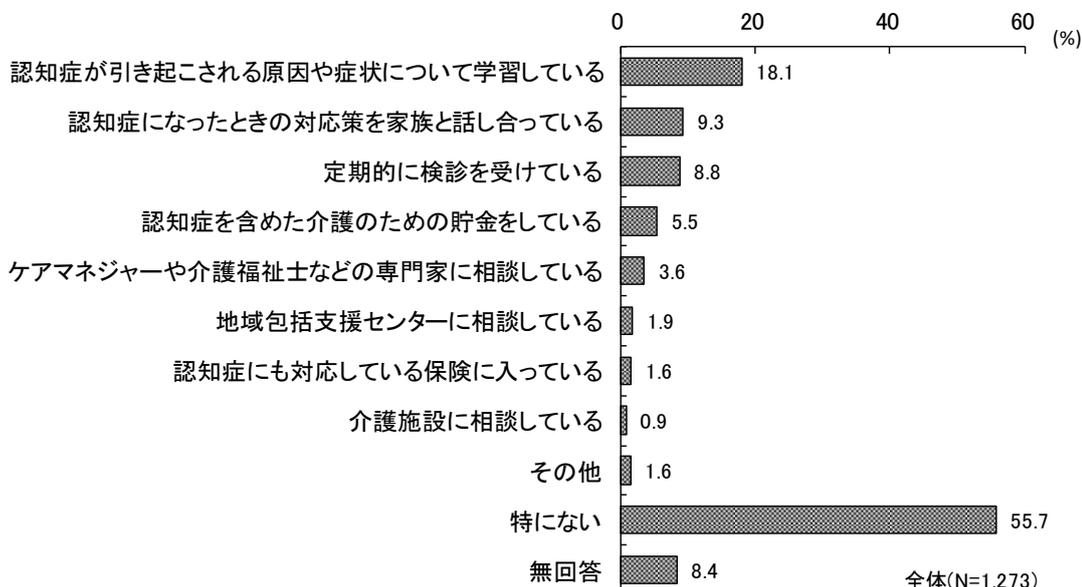
図表 3-64 認知症になった場合の暮らしや備えの状況 (全体)



② 認知症になった場合の備えの状況

- 認知症になった場合の備えの状況は、「認知症が引き起こされる原因や症状について学習している (18.1%)」が最も多く、「認知症になったときの対応策を家族と話し合っている (9.3%)」、「定期的に検診を受けている (8.8%)」が続いている。

図表 3-65 認知症になった場合の備えの状況 (全体：複数回答)

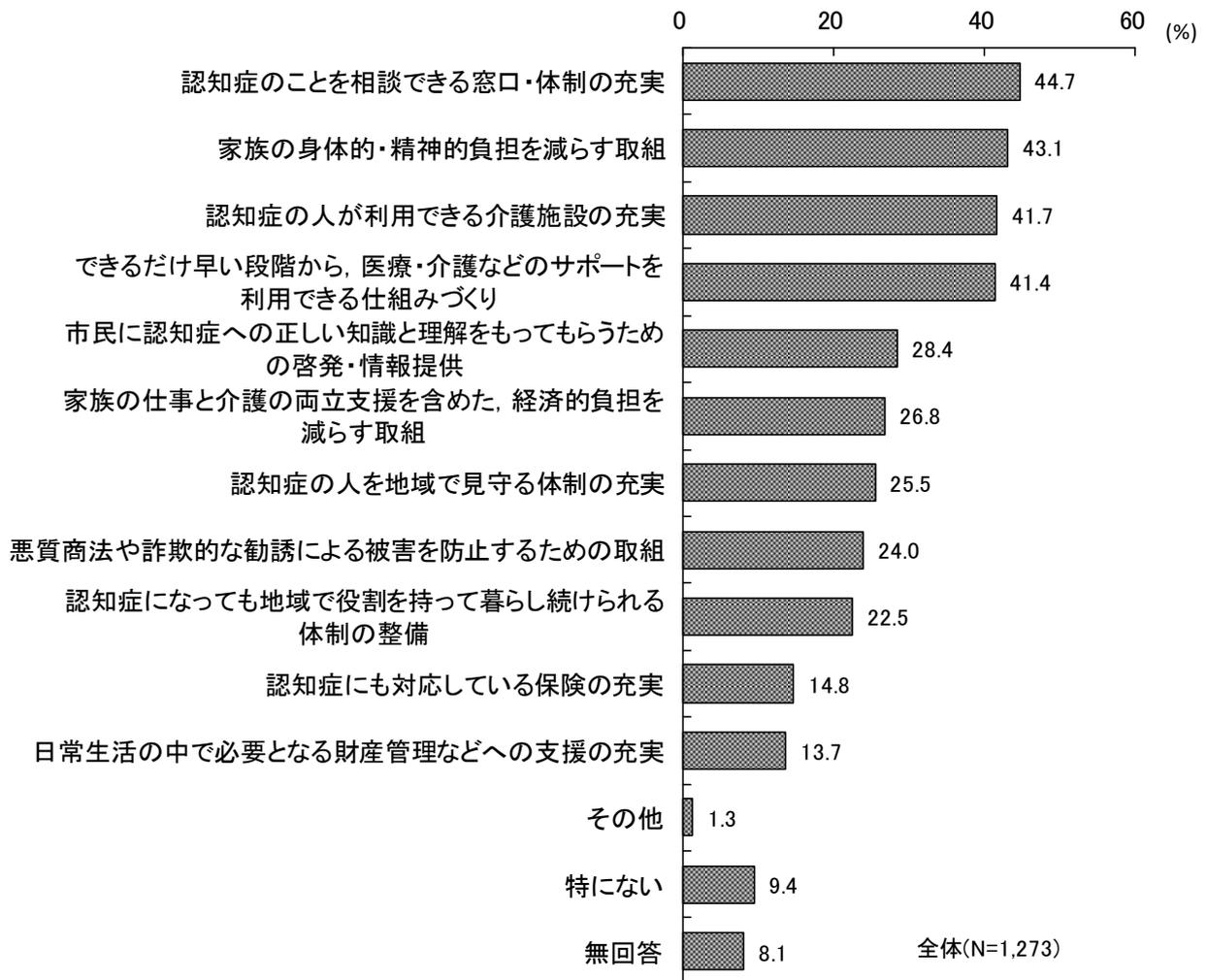


(2) 求める認知症施策（問 30）

問 30 調布市の認知症施策でこれから必要だと思うことは次のどれですか。（いくつでも○）

- 求める認知症施策は、「認知症のことを相談できる窓口・体制の充実（44.7%）」が最も多く、「家族の身体的・精神的負担を減らす取組（43.1%）」、「認知症の人が利用できる介護施設の充実（41.7%）」が続いている。

図表 3-66 求める認知症施策（全体：複数回答）



10 災害時の対応

(1) 災害時の避難が一人でできるか (問31)

問31 あなたは、災害や火災などの緊急時に、一人で避難することができますか。(1つに○)

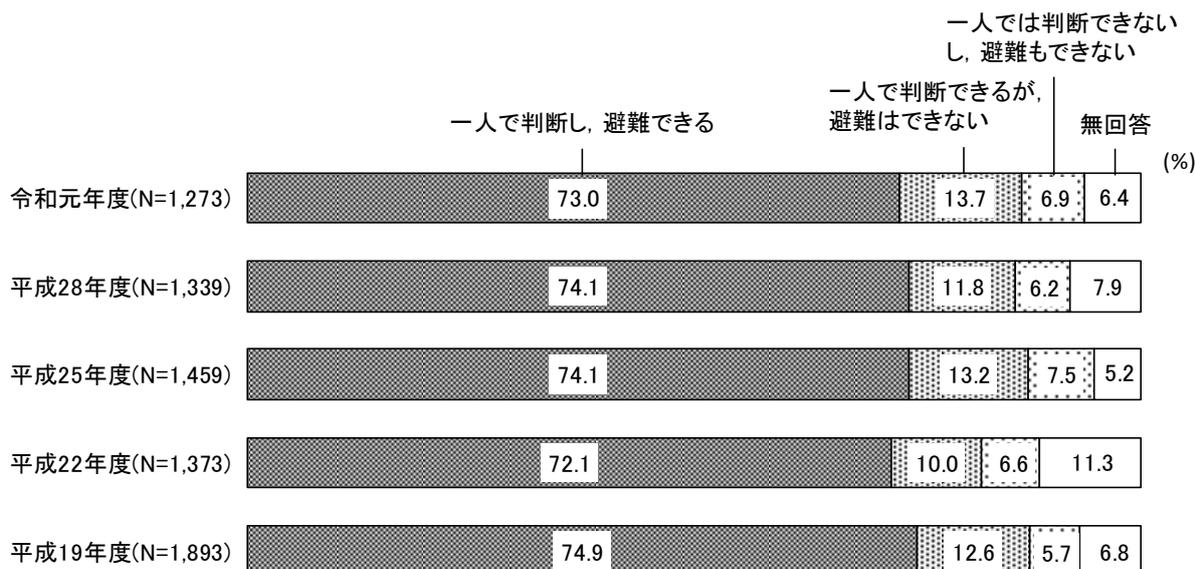
- 災害時の避難が一人でできるかは、**全体**では、「一人で判断し、避難できる」の割合は73.0%である。
- **性別**にみると、「一人で判断し、避難できる」の割合は男性は81.3%、女性は66.5%である。
- **年代別**にみると、「一人で判断し、避難できる」の割合は年代が上がるにつれて低くなっており、65～74歳で88.3%と高く、85歳以上は32.5%と低くなっている。「一人では判断できないし、避難もできない」の割合は85歳以上で2割を超えている。
- **性・年代別**にみると、「一人で判断できるが、避難はできない」の割合は、女性・85歳以上で3割を超え、「一人では判断できないし、避難もできない」の割合は女性・85歳以上で約3割と高くなっている。

図表 3-67 図表 緊急時に一人で避難できるか (全体, 性別, 年代別, 性・年代別) (%)

		避 難 一 人 で 判 断 し、	き る 一 人 で 判 断 は で き な い、	も き 一 人 で 判 断 し、 避 難 で き な い、	無 回 答	
全 体 (N=1,273)		73.0	13.7	6.9	6.4	
性別	男性 (n= 570)	81.3	8.4	4.2	6.1	
	女性 (n= 688)	66.5	18.2	9.3	6.0	
年代別	65～74歳 (n= 544)	88.3	6.6	2.0	3.1	
	75～84歳 (n= 432)	69.2	16.9	7.4	6.5	
	85歳以上 (n= 175)	32.5	32.6	22.9	12.0	
性・年代別	男性	65～74歳 (n= 258)	92.3	2.7	2.3	2.7
		75～84歳 (n= 186)	76.8	10.8	5.4	7.0
		85歳以上 (n= 54)	44.4	29.6	9.3	16.7
	女性	65～74歳 (n= 285)	84.5	10.2	1.8	3.5
		75～84歳 (n= 244)	63.2	21.7	9.0	6.1
		85歳以上 (n= 121)	27.3	33.9	28.9	9.9

- **経年**で比較すると、令和元年度は、平成19年度から大きな変化はないが、平成28年度に比べ、「一人で判断し、避難できる」の割合はわずかに低くなっており、「一人で判断できるが、避難はできない」の割合は13.7%で過去5回の調査で最も高くなっている。

図表 3-68 災害時の避難が一人でできるか（全体）【経年比較】



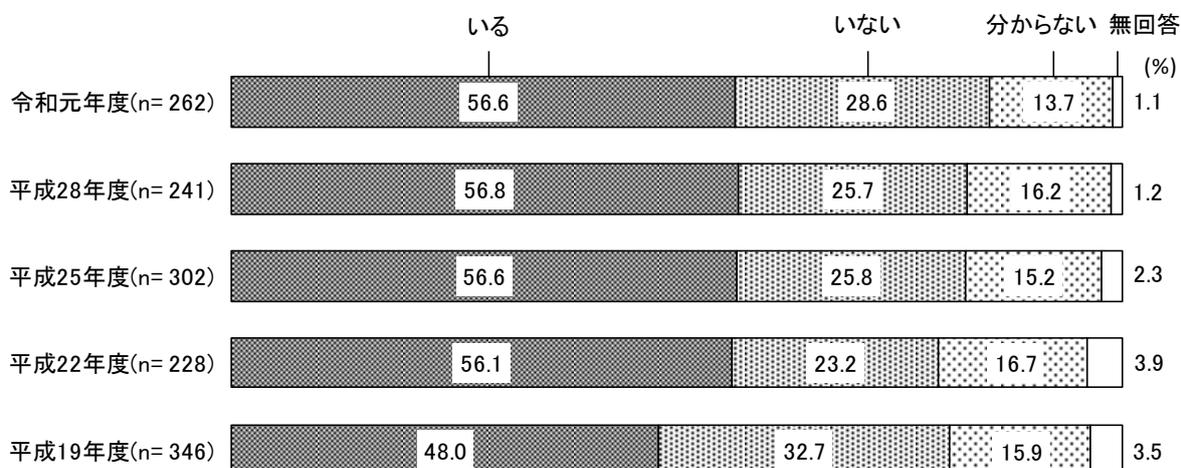
(2) 災害時の避難の際、手助けを頼める人の有無（問 31-1）

問 31-1 問 31 で 2 または 3 と答えた方におたずねします。
 災害や火災など緊急時に避難する際に、手助けを頼める人はいますか。（1つに○）

- 災害等の緊急時に一人で避難できない人に対し、手助けを頼める人の有無をたずねたところ、**全体**では、「いる」が 56.6%、「いない」が 28.6%である。
- **経年**で比較すると、令和元年度は平成 28 年度はとほぼ同じ割合で、「いる」が 56.6%であるが、「いない」が 28.6%で、頼める人がいない割合がわずかに高くなっている。

図表 3-69 災害時の避難の際、手助けを頼める人の有無（全体）【経年比較】

<緊急時に「一人で判断できるが、避難はできない」、
 「一人では判断できないし、避難もできない」と回答した人のみ>



- **性・年代別**にみると、「いない」の割合は、男性のすべての年代で3割台、女性のすべての年代で2割台となっている。特に男性・85歳以上で38.1%と全体と比べ9.5ポイント高くなっている。
- **家族構成別**にみると、ひとり暮らしは「いない」が46.5%と高くなっている。

図表 3-70 災害時の避難の際、手助けを頼める人の有無（全体、性・年代別、家族構成別）

		(%)				
		いる	いない	分からない	無回答	
全 体 (n=262)		56.6	28.6	13.7	1.1	
性・年代別	男性	65～74歳 (n= 13)	46.1	30.8	23.1	0.0
		75～84歳 (n= 30)	50.0	30.0	16.7	3.3
		85歳以上 (n= 21)	61.9	38.1	0.0	0.0
	女性	65～74歳 (n= 34)	58.8	26.5	14.7	0.0
		75～84歳 (n= 75)	58.7	29.3	12.0	0.0
		85歳以上 (n= 76)	57.9	25.0	14.5	2.6
家族構成別	ひとり暮らし (n= 73)	37.0	46.5	15.1	1.4	
	夫婦のみ (n=106)	59.5	24.5	15.1	0.9	
	その他 (n= 73)	69.9	16.4	12.3	1.4	

11 地域社会に対する考え方

(1) 地域で福祉サービスの利用に結びついておらず困っている人の有無（問 32）

問 32 あなたを含め、地域において支援が必要であるにもかかわらず、福祉サービスの利用に結びついていない人を知っていますか。（1つに○）

- 福祉サービスの利用に結びついていない人の有無は、**全体**では、「知っている」が3.8%である。
- **福祉圏域別**にみると、「知っている」の割合は、若葉・調和小学校地域で6.7%と最も高くなっている。

図表 3-71 福祉サービスに結びついていない人の有無（全体、福祉圏域別）

		(%)		
		知 っ て い る	知 ら な い	無 回 答
全 体 (N=1, 273)		3.8	87.4	8.8
福祉圏域別 (小学校区)	緑ヶ丘・滝坂 (n= 118)	3.4	88.1	8.5
	若葉・調和 (n= 164)	6.7	89.6	3.7
	上ノ原・柏野 (n= 147)	2.0	88.5	9.5
	北ノ台・深大寺 (n= 127)	2.4	88.9	8.7
	第二・八雲台・国領 (n= 213)	4.7	86.8	8.5
	染地・杉森・布田 (n= 142)	4.2	86.6	9.2
	第一・富士見台・多摩川 (n= 159)	2.5	88.1	9.4
	第三・石原・飛田給 (n= 180)	3.9	86.1	10.0

(2) 福祉サービスに結びついていない事例の具体的な内容 (問 32-1)

問 32-1 福祉サービスの利用に結びついていない人は、どのような人ですか。また、どのようなことでお困りですか。下の欄に具体的にご記入ください。

- 支援が必要であるにもかかわらず、福祉サービスに結びついていない人を「知っている」と回答した人に、具体的な状況を自由記述形式でたずねたところ、全体で 32 件の回答があった。以下、主なものを掲載する。

(認知症)

- ・妻が認知症初期、私一人が面倒を見ている。(男性, 85 歳以上)
- ・80 歳を過ぎ一人住まい、日に日に認知症が進んでいるようですが体は元気だが財産(金銭)で心配している。(女性, 75~79 歳)

(支援を受けられていない)

- ・近所の個人宅の人ですが毎日朝から外でブラブラ歩き廻り、循環バスを降りずにグルグル廻っています。おとなしい人なので別に迷惑はしていませんが、人のうわさでは家族に邪魔にされているそうです。一種の虐待ではないでしょうか。(男性, 85 歳以上)
- ・要支援が 2 から 1 となり紙おむつの給付が受けられず大腸がん(悪性)なので、軟便で紙おむつは使用しなくてはならず、外見のみで給付中止され残念です。(女性, 80~84 歳)

(近所づきあいがいいない、コミュニケーションが取れない)

- ・息子の家族が隣にいるが地域に馴染めず孤立している。デイケアなどの話をしたこともあるがあまり関心がない。(男性, 70~74 歳)
- ・本人はいくつかの病気を抱えているが、親戚・縁者もなく隣近所との付き合いもない人がいる。(女性, 65~69 歳)
- ・ひきこもりの人、外出なき人。(男性, 85 歳以上)
- ・聴覚障害がありコミュニケーションが取れない。(男性, 65~69 歳)

(手続きができない、わからない、情報が届いていない)

- ・1 人で暮らしてる人、高齢のご夫婦で暮らしてる人、買い物ができない。介護に必要な用具をどこで購入して良いか分からない。配食についても知らない。(女性, 年齢不明)
- ・介護認定の受け方を知らない。高齢夫婦で 2 人とも認知症の方。(男性, 年齢不明)
- ・老人介護で心身ともに限界がある。特に手続きなど当人でないと考えられないか多々ある。(女性, 85 歳以上)

(ひとり暮らしの高齢者)

- ・視覚障害があってひとり暮らし、生活全般が大変。(女性, 70~74 歳)
- ・マンション内でひとり暮らし。足が不自由な女性。(女性, 65~69 歳)

(支援を受け入れない)

- ・サービスを受けることについて、本人が積極的にならずまた周囲の人(家族や知人)も一般論にとどまっていて、実行に移らない。背中を押す力が働けば、前に進むと思われる。(男性, 65~69 歳)

12 調布市の高齢者保健福祉施策

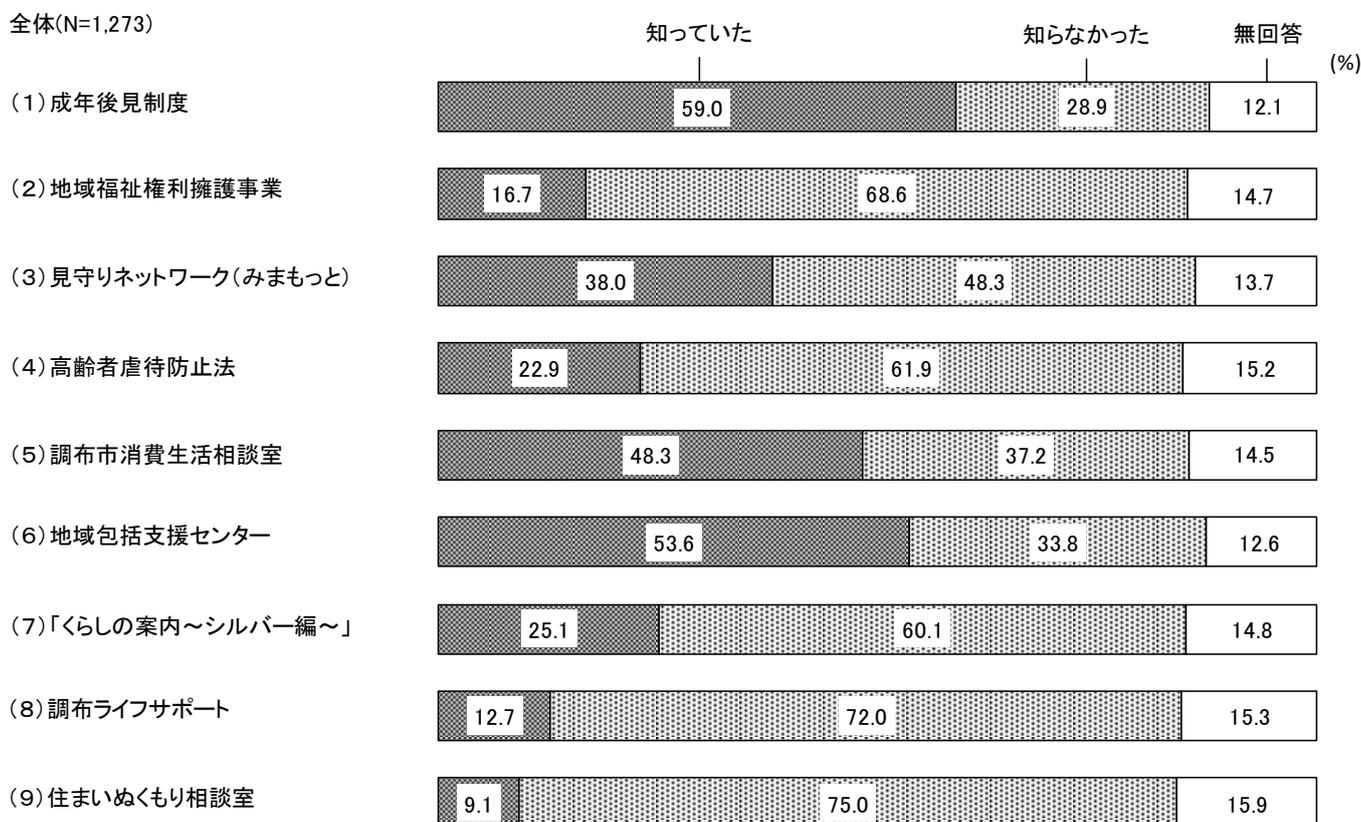
(1) 調布市の高齢者保健福祉施策の認知状況 (問 33)

問 33 高齢者の権利や生活を守るための制度や相談窓口等として以下のようなものがありますが、あなたは知っていますか。

(1) ~ (9) について、それぞれ1つに○をつけてください。

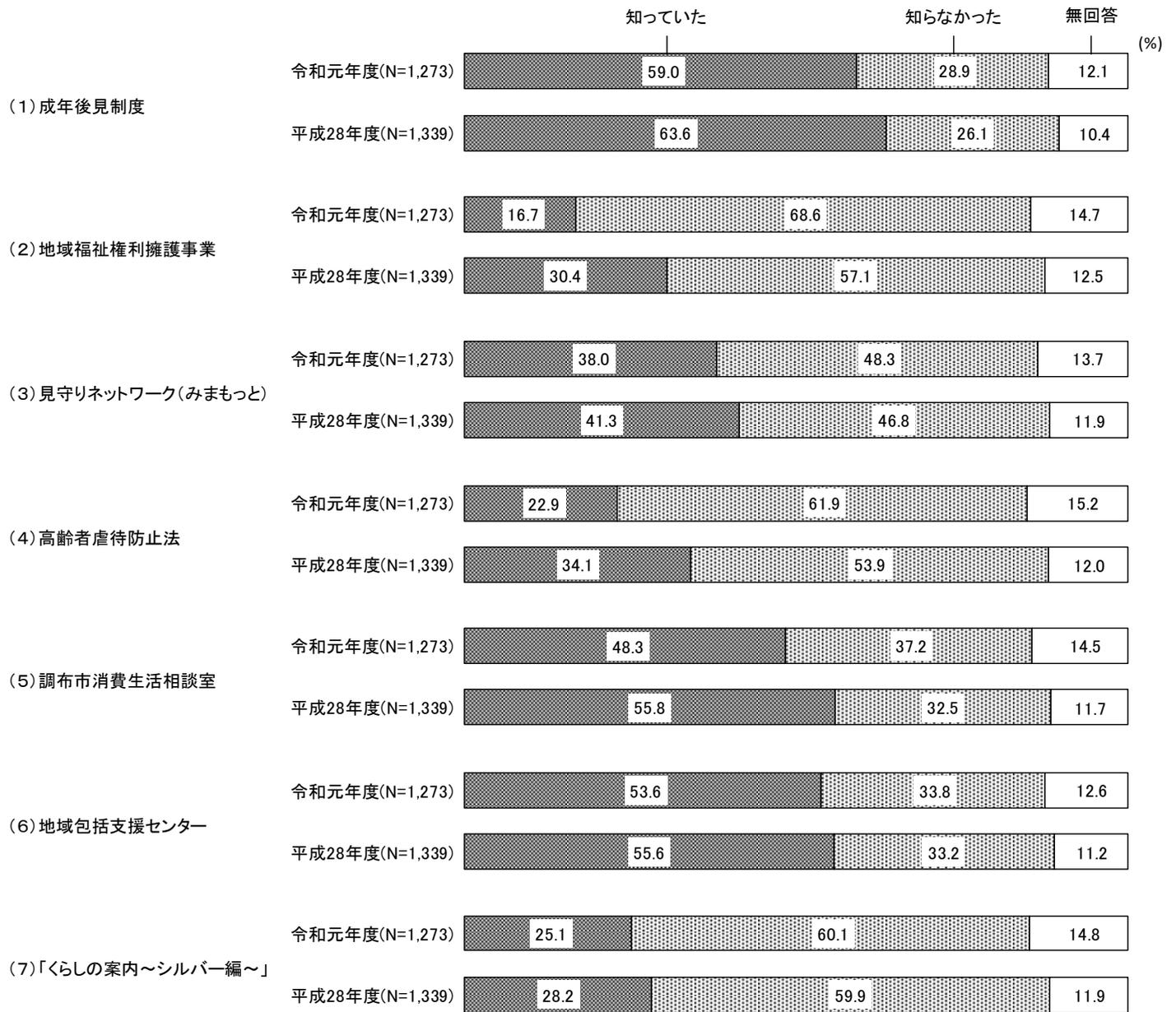
- 調布市の高齢者保健福祉施策に関する制度や相談窓口の認知状況は、**全体**では、「知っていた」の割合が『成年後見制度』、『地域包括支援センター』は5割を超え、『調布市消費生活相談室』は4割台で高くなっている。
- 一方、『住まいぬくもり相談室』は1割未満、『地域福祉権利擁護事業』と『調布ライフサポート』は「知っていた」の割合が1割台にとどまっている。
- **経年**で比較すると、令和元年度は平成28年度に比べ、『成年後見制度』、『地域福祉権利擁護事業』、『見守りネットワーク (みまもっと)』、『高齢者虐待防止法』、『調布市消費生活相談室』、『地域包括支援センター』、『「くらしの案内～シルバー編～」』において「知っていた」の割合が低くなっている。特に、『地域福祉権利擁護事業』と『高齢者虐待防止法』では、10ポイント以上「知っていた」の割合が低くなっている。

図表 3-72 調布市の高齢者保健福祉施策の認知状況 (全体)



Ⅱ アンケート調査の結果

図表 3-73 調布市の高齢者保健福祉施策の認知状況（全体）【経年比較】



(2) 今後力を入れるべき高齢者保健福祉施策（サービス）（問34）

問34 調布市の高齢者保健福祉施策（サービス）全般について、市が力を入れるべきことは次のうちどれだと思いますか。（5つまで○）

- 今後力を入れるべき高齢者保健福祉施策（サービス）は、**全体**では、「ひとり暮らしなどの高齢者に対する見守りや支え合う地域づくりへの支援（41.7%）」が最も多く、「介護が必要にならないための健康づくりなどの支援（41.3%）」、「介護保険サービスの充実（ホームヘルパーサービス、デイサービス、ショートステイなど）（40.1%）」が続いている。
- **性・年代別**にみると、男性・65～74歳で「ひとり暮らしなどの高齢者に対する見守りや支え合う地域づくりへの支援」、男性・75歳～84歳と女性・75歳～84歳で「介護が必要にならないための健康づくりなどの支援」、男性・85歳以上、女性・65～74歳、女性・85歳以上で「介護保険サービスの充実（ホームヘルパーサービス、デイサービス、ショートステイなど）」がそれぞれ最も多くなっている。
- **福祉圏域別**にみると、緑ヶ丘・滝坂小学校地域、北ノ台・深大寺小学校地域、第三・石原・飛田給小学校地域、染地・杉森・布田小学校地域で「ひとり暮らしなどの高齢者に対する見守りや支え合う地域づくりへの支援」、第二・八雲台・国領小学校地域で「介護が必要にならないための健康づくりなどの支援」、若葉・調和小学校地域、第一・富士見台・多摩川小学校地域で「介護保険サービスの充実（ホームヘルパーサービス、デイサービス、ショートステイなど）」、上ノ原・柏野小学校地域で「特別養護老人ホームなどの入所施設の整備」がそれぞれ最も多くなっている。また、上ノ原・柏野小学校地域で「既存住宅の改修支援」が全体と比べ10ポイント高くなっている。

II アンケート調査の結果

図表 3-74 今後力を入れるべき高齢者保健福祉施策（サービス）

（全体、性・年代別、福祉圏域別：複数回答（5つまで））

			趣味や生きがいづくり、社会参	働く機会や場所づくり	介護が必要にならないための健	自立生活のための家事（炊事・	洗濯・掃除など）についての指	ヘルプサービス、デイサービス、ショートステイなど	介護保険サービスの充実（ホームヘルプサービス、紙おむつの給付など）	介護保険以外の保健福祉サービスの充実（配食サービス、紙おむつの給付など）	ボランティアや地域活動の充実	ひとり暮らしなどの高齢者に対する見守りや支え合う地域づくりにへの支援	低所得者等への経済的支援
全 体 (N=1,273)			28.8	16.5	41.3	9.3	40.1	28.3	9.0	41.7	25.3		
性・年代別	男性	65～74歳 (n= 258)	30.6	26.0	29.8	8.9	34.9	22.9	10.1	37.6	33.3		
		75～84歳 (n= 186)	26.9	12.9	46.8	14.5	34.9	22.6	8.6	44.6	22.0		
		85歳以上 (n= 54)	27.8	7.4	40.7	14.8	44.4	37.0	9.3	42.6	11.1		
	女性	65～74歳 (n= 285)	31.6	20.7	40.4	8.4	50.2	35.4	9.8	45.6	27.4		
		75～84歳 (n= 244)	30.3	10.7	54.1	6.6	44.7	34.8	7.4	44.3	26.2		
		85歳以上 (n= 121)	19.8	5.0	34.7	11.6	41.3	27.3	8.3	37.2	14.9		
福祉圏域別（小学校区）	緑ヶ丘・滝坂 (n= 118)	28.8	17.8	39.8	11.0	33.9	27.1	5.1	40.7	28.0			
	若葉・調和 (n= 164)	31.1	14.6	41.5	6.7	45.7	33.5	10.4	38.4	23.8			
	上ノ原・柏野 (n= 147)	29.3	15.6	42.9	12.9	42.9	25.2	10.2	37.4	24.5			
	北ノ台・深大寺 (n= 127)	25.2	18.1	38.6	6.3	39.4	24.4	8.7	43.3	25.2			
	第二・八雲台・国領 (n= 213)	32.4	17.8	41.8	6.1	38.0	23.9	7.5	39.9	22.5			
	染地・杉森・布田 (n= 142)	26.1	14.1	43.0	12.0	40.1	26.8	10.6	46.5	29.6			
	第一・富士見台・多摩川 (n= 159)	31.4	15.1	39.6	11.9	44.0	30.2	13.2	43.4	30.8			
第三・石原・飛田給 (n= 180)	25.0	16.1	42.2	8.9	37.2	34.4	7.2	45.0	22.8				

			既存住宅の改修支援	安価な賃貸住宅の供給	共段差などがなく利用しやすい公	施設・交通機関の整備	特別養護老人ホームなどの入所	利用しやすい成年後見制度	介護者に対する支援	その他	分からない	無回答
全 体 (N=1,273)			14.5	17.0	17.9	37.6	8.5	29.4	1.9	4.7	6.2	
性・年代別	男性	65～74歳 (n= 258)	15.9	20.2	12.8	36.8	6.2	27.1	1.6	8.5	2.7	
		75～84歳 (n= 186)	15.1	15.1	14.0	35.5	8.6	26.9	2.2	6.5	7.0	
		85歳以上 (n= 54)	27.8	7.4	14.8	25.9	7.4	31.5	5.6	3.7	9.3	
	女性	65～74歳 (n= 285)	11.6	18.6	28.4	46.0	11.2	35.8	1.8	1.4	2.5	
		75～84歳 (n= 244)	14.3	18.9	16.0	38.5	8.2	31.6	2.5	3.3	3.7	
		85歳以上 (n= 121)	11.6	9.9	18.2	35.5	9.1	21.5	0.8	5.8	19.0	
福祉圏域別（小学校区）	緑ヶ丘・滝坂 (n= 118)	16.9	16.1	11.0	39.0	10.2	22.0	1.7	5.1	8.5		
	若葉・調和 (n= 164)	13.4	23.2	11.0	42.1	6.7	29.9	3.0	4.9	4.9		
	上ノ原・柏野 (n= 147)	24.5	14.3	19.0	43.5	10.2	33.3	2.0	4.8	2.7		
	北ノ台・深大寺 (n= 127)	12.6	13.4	18.1	32.3	7.9	26.8	1.6	8.7	5.5		
	第二・八雲台・国領 (n= 213)	7.0	15.0	23.0	38.5	7.5	25.4	1.9	5.2	8.9		
	染地・杉森・布田 (n= 142)	16.2	20.4	18.3	34.5	2.1	28.9	0.0	2.1	5.6		
	第一・富士見台・多摩川 (n= 159)	14.5	17.6	20.8	36.5	11.9	37.1	2.5	3.1	4.4		
第三・石原・飛田給 (n= 180)	15.0	16.7	20.0	35.6	11.7	30.6	2.2	4.4	6.7			

(3) 市への要望 (問 35)

問 35 高齢者がいきいきとした生活を送ることができる地域社会を実現するための取組などについて、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

○ 高齢者がいきいきとした生活を送ることができる地域社会を実現するための取組などについての意見・要望を自由記述形式でたずねたところ、290 件の回答があった。以下に主なものを掲載する。

① 市の福祉施策・サービスについて (41 件)

- ・独居老人になった場合の生活の仕方のパターン（どこを拠点として暮らすか）その場合に必要手続きや経費など、具体的にシュミレーションできる情報やツールがほしい。(女性, 65~69 歳)
- ・調布市は高齢者・障害者など弱者に対し、よく目を向け取り組んでいると思う。感謝する。これからも頑張ってもらいたい。(男性, 70~74 歳)
- ・市が運営するホームの近くに幼稚園保育所があったら良いと思う。(女性, 80~84 歳)
- ・一口に高齢者と言っても様々なので難しい。市は高齢者よりも若い子ども達の福祉に力を入れてほしい。(男性, 65~69 歳)
- ・父母の介護の時期にはヘルパーさんの教育が充実してなくてとてもプロとは思えない人が多かった。教育を高めて下さい。(女性, 85 歳~89 歳)

② まち・環境について (29 件)

- ・事業や福祉等に参加しやすい環境を整えて高齢者や障害者に優しい社会であってほしい。(男性, 75~79 歳)
- ・公園や遊歩道、ゆっくり走れるサイクリングコース等、車などの心配なく外を歩いたり、自転車で走れたり気楽にベンチで休めたりする施設があればいいと思っています。どんな狭い道も車が入って来る為、外へ出なくなる。とにかく外に出られる環境をつくるのが大切だと思っています。(男性, 65~69 歳)
- ・いろんな通りにちょっと腰掛ける場所、気楽に話ができるような、今何を展示しているか、駅前では何をやっているか等、散歩で廻ってみる気になるように、話し掛け、歩く事が大事です。(女性, 85~89 歳)
- ・市内全域へのバリアフリー化。(男性, 75~79 歳)

③ 地域活動・社会参加について (22 件)

- ・生き生きする為に若い人達の力が必要。場所を提供する所。(女性, 70~74 歳)
- ・元気な高齢者がボランティア等、活動できるよう情報提供や声掛けを増やす。初期の介護は自立のため過度にならないよう見守ってほしい。(女性, 70~74 歳)
- ・家にこもりがちな高齢者の方々が参加しやすい場所が近場で歩いて行ける所がいくつあるといいと思います。(女性, 70~74 歳)
- ・誰にでもできること、お互いに協力しあっていくグループ活動をどう広げていくか切実な時に近づいてきていると思います。(男性, 85~89 歳)

- ・健康維持に留意しながら困っている人、弱い人に、できることがあればお手伝いしたいです。(おつかい、話し相手、役所の手続きなど) (女性, 65~69 歳)

④ 健康・医療について (18 件)

- ・快眠, 快食, 快便を継続したい! (男性, 65~69 歳)
- ・公園等に高齢者が簡単にいつでも使える運動器具を備え付けてほしい。足踏みしたり(転倒防止, 棚を付る) 手足の筋肉を付るような器具。(女性, 70~74 歳)
- ・高齢者が生き生きと生活できる等の条件は常に健康であることです。そのためには運動と食事の自己管理, かかりつけ医の必要性。(男性, 65~69 歳)
- ・病院に行くのが大変な時, 昔のように自宅に来て下さる医師がいて下さると, 安心して老後を迎えることができますと思います。(女性, 75~79 歳)
- ・これからは家で終末を迎えたいと思っている人が多いと思うので訪問看護等充実して戴きたい。(女性, 85~89 歳)

⑤ 住まいや福祉施設について (14 件)

- ・ますます高齢者の方が増えていく中で家族が面倒を見切れなくなった時に, 安心してすぐに入所できる施設が沢山あるといいと思うし, 負担も軽くなることを願う。(女性, 70~74 歳)
- ・多様な環境(個人的な) 要因, 要件があると思いますが, いわゆる「サ高住」施設がさほど高額でない水準で利用できるようにご尽力いただきたいと思います。(男性, 70~74 歳)
- ・賃貸で暮らしている高齢者とともに生活している家族が気兼ねなく安心して住める住宅を充実してほしい。また, 高齢者でも住居を貸してくれるアパート等, 市としてもつくり, 取り組んでもらいたい。(女性, 75~79 歳)

⑥ 自助努力について (13 件)

- ・スイミングに 30 年週に 4~5 回通って 1 回 1500m 前後泳いで元気です。運動と 3 度の食事は大事なことだと思います。(女性, 80~84 歳, 抜粋)
- ・以前はあまり感じなかった年齢を, 日々痛感し人に迷惑をかけず自立していくために, 書物の貸し出しが宅配などでできたら良いと思う。図書室まで行くのに困難な人もいる。勉強しなくてはいけない。(男性, 74~79 歳)

⑦ 福祉意識について (13 件)

- ・要介護者や障害者と健常者を同一線上に区別, 差別の無い視点から取組を。(男性, 65~70 歳)
- ・健康に注意して地域のボランティア活動など役に立つ姿勢が大切だと思う。(男性, 74~79 歳)
- ・認知症の人に対する周囲の理解が難しい。外見は普通に見える方も多く誤解されやすい。今までと違うと思うことがあったら行動を起こしてほしい。(女性, 65~70 歳, 抜粋)

⑧ 多世代交流について (11 件)

- ・歩いていかれる範囲内に誰でも気楽に集えて話せる場所をつくり地域交流を盛んにすること。自治会, 小学校区域等でなるべく多数回の集いを計画し皆さんが顔

見知りになり会話が自由にできることが大切だと思います。(女性, 75~79歳)

- ・高齢者が自由に集まり, 自由にお話のできる何かがあったらお互いの悩みとか情報が交換ができて良いと思います。高齢者以外も参加できるとなお良いと思います。(女性, 75~79歳)

⑨ 居場所について (11件)

- ・支援, 施設も大事ですが自立への自覚を促すことが, より大切だと思う。コミュニティの場の提供をしてくれる取組をしてほしい。(男性, 70~74歳)
- ・いつでも出かけてお茶したり, ランチしたり, おしゃべりしたりできる場所があったら良いと思う。そんな所があったらボランティアで働いてもと思っている。(女性, 70~74歳)

⑩ 情報について (10件)

- ・我が家には新聞, テレビ, 市報以外の情報関係機能は無く, ○○を申し込みたいと思ってもネットとかスマホとかを使って申し込むことはできない。直接のお知らせで申し込む以外はできない家庭です。(男性, 90~95歳, 抜粋)
- ・新しい情報の発信と必要な情報を得られる場所(具体的な)を地域ごとに知らせてほしい。市報や福祉の窓などはとても役に立っており心強いです, もっと身近にあったら教えて下さい。(女性, 70~74歳)

⑪ 市の福祉施策(福祉施策・サービス以外)について (8件)

- ・近隣に放置された(利用されない)広大な土地があります。高齢者が利用できる家庭菜園などに利用できれば地主も助かると思うのですが!(男性, 65~69歳)
- ・娯楽的な催し, コンサート etc 野外活動ポジティブなことに積極的に取り組んでほしい。(男性, 75~79歳)

⑫ 将来の生活・暮らしについて (7件)

- ・今のところありません。自分が認知症, がん入院の時など妻, 子どもに負担をかけることの心配。自分の希望を「エンディングノート」に記すため, 調査しています。(男性, 75~79歳)
- ・現在私は介護(主人)をしております。とても大変ですが娘が手伝ってくれてます。でも将来なにかあった場合娘一人になり無収入です。今後のことを考えると, とてもつらいです。そういう場合市では何か応援して下さいますか。何かよろしくお願いいたします。(女性, 75~79歳)

⑬ ひとり暮らしの高齢者について (7件)

- ・人づきあいの良い社交的な人は友人も多く様々な活動をして生き生きとした生活を送っておられる方が多いですが, 反対に人づきあいせず家にこもりがちな人が健康を害しやすいと思いますので, ひとり暮らしの高齢者の訪問などをして話し相手になってあげる人材派遣をこれからもどんどん充実して欲しいと思います。(女性, 65~69歳)
- ・ひとり暮らし。掃除洗濯料理買い物, すべてこなしています。手芸を趣味として毎日針と仲良くしています。近所の方と合えば挨拶生活をしています。ですが, 1日中誰とも会わず話もせずですと, 本当に淋しくなります。(男性, 80~84歳, 抜粋)

⑭ 近所づきあいについて（6件）

- ・近所の人と知り合い顔見知りになれる機会が定期的にあると良いと思う。例えば公園の掃除とか草取りなどでも。（女性、65～69歳）
- ・前には自治会などのつながりがあったが、場所によってはそれがなく近所のつながりが薄くなってるところもある。（女性、75～79歳）

⑮ 相談について（6件）

- ・本当に心より信頼できる人間が見つからず悩んでいます。自宅で死亡したいと願っていますが、あとの処理すべてを誰に相談すれば良いのでしょうか？（女性、85～89歳、抜粋）
- ・どんなことにでも困ったような時には言葉をかけて聞いてあげる。人はいろいろ聞きにくいことで最悪の事になる場合があるから、気軽に言葉をかけてあげることから始めてほしい。（女性、90～95歳）
- ・ショッピングの際気軽に相談できる場があると良い。（女性、80～85歳）

⑯ 災害時について（6件）

- ・災害時における高齢者世帯に対する避難などの補助。緊急時における連絡体制の充実。（男性、75～79歳）
- ・災害時避難場所の開設されている（その時）所を教えてほしい。（女性、75～80歳）

⑰ 介護について（6件）

- ・認知症の夫を介護しています。私も倒れそうになる時もありますがデイサービス、ショートステイは費用が高すぎて利用を我慢しています。（女性、80～84歳）
- ・介護をして下さる方々の報酬を上げていただきたい。人生の一番大変な時期をそれも改善できる可能性の少ない私達の面倒を見て下さるのですから…。その方々の環境を整えてほしいです。（女性、65～69歳）

⑱ 仕事について（6件）

- ・小さな子ども達とふれあいながら、働くことができる場がほしいです。（女性、65～69歳）
- ・老人作業所のような所があれば体調の良い時に参加、休むは自由、収入があれば社会参加の意識が上がると思います。（女性、65～69歳）
- ・現在の年金制度では普通の生活をしていくのは難しい。それを補うため、健康で働く意思のある者の働く場を増やす。今後、労働力不足が進むことから高齢者の積極的な活用が必要と考える。（男性、年齢不明）

⑲ 生きがいについて（5件）

- ・無料でできる趣味や生きがいづくりの場をもっとつくってほしい。（女性、75～80歳）
- ・地域発信型の高齢者（75歳以上の老人）を対象とする生きがいづくり支援。なんでも話せること、気楽に仲間になれること。リーダー的な仕切り屋は必要ない。押しつけごめん等々、沢山の要望が他にもある。（男性、75～79歳、抜粋）

⑳ 生活困窮について（5件）

- ・生活資金不足。（男性，80～85歳）
- ・低所得者に対する公費で経済的支援。（男性，80～84歳）

㉑ 見守りについて（5件）

- ・色々な沢山の高齢者保健福祉施策があります。ポイントはいかに高齢者を取り込み（情報を吸い上げ）サポートしていくかです。一人で頑張って生きている高齢者をどのように囲い込み見守っていくかです。一人でのんびり，自由に生きたい人には外から優しく見守りサポートしていくのがベターと考えます。（男性，65～69歳）
- ・地域で見守られるネットワークづくり。孤立しないように地域の情報を共有，声掛け。災害時の声掛け（マンション内での緊急対応の備え）。（女性，65～69歳）

㉒ アンケートについて（18件）

- ・アンケート調査するだけではなく実行してほしいです。（女性，65～69歳）
- ・質問が多すぎるし難しい。実のある集約ができるのか疑問である。（男性，80～85歳）
- ・高齢者の生きがいと地域生活に関する調査に接して知らないこともいっぱいあるので参考になりました。（女性，年齢不明）

㉓ その他（23件）

- ・高齢者と言われることに抵抗がある。（男性，65～69歳）
- ・調査書を読み改めて自分の置かれている現在を認識することができました。これからの来たる時間を大切に，家族友人等の方々と助け合いながら前進して行きたいと思いました。（女性，80～85歳）
- ・現代は，残念ながら生き生きとした生活を地域社会に求める時代ではなく，自力で実現努力するしか実現の道は無いと思われる。生き生きとした地域社会を実現するには，子どもの頃からの教育と社会風土の再構築が必要だと思う。（男性，75～79歳，抜粋）